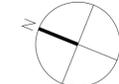
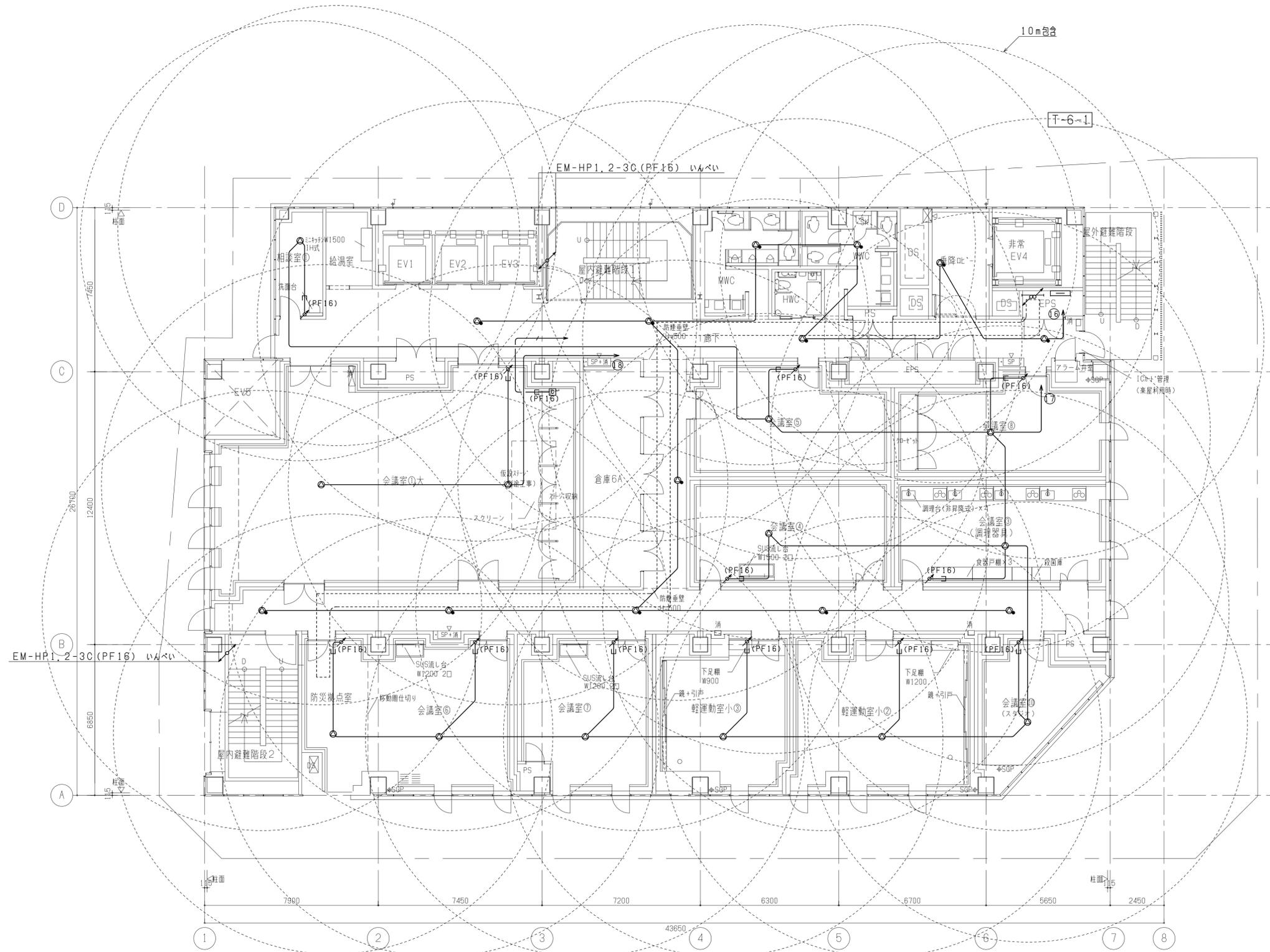


5階平面図

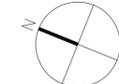


工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	拡声設備 5階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1/100	図面番号 No. 122 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設

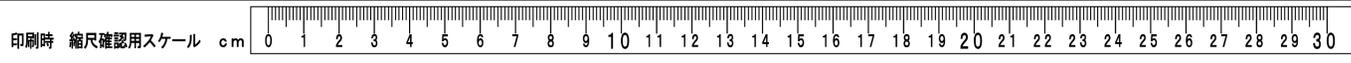


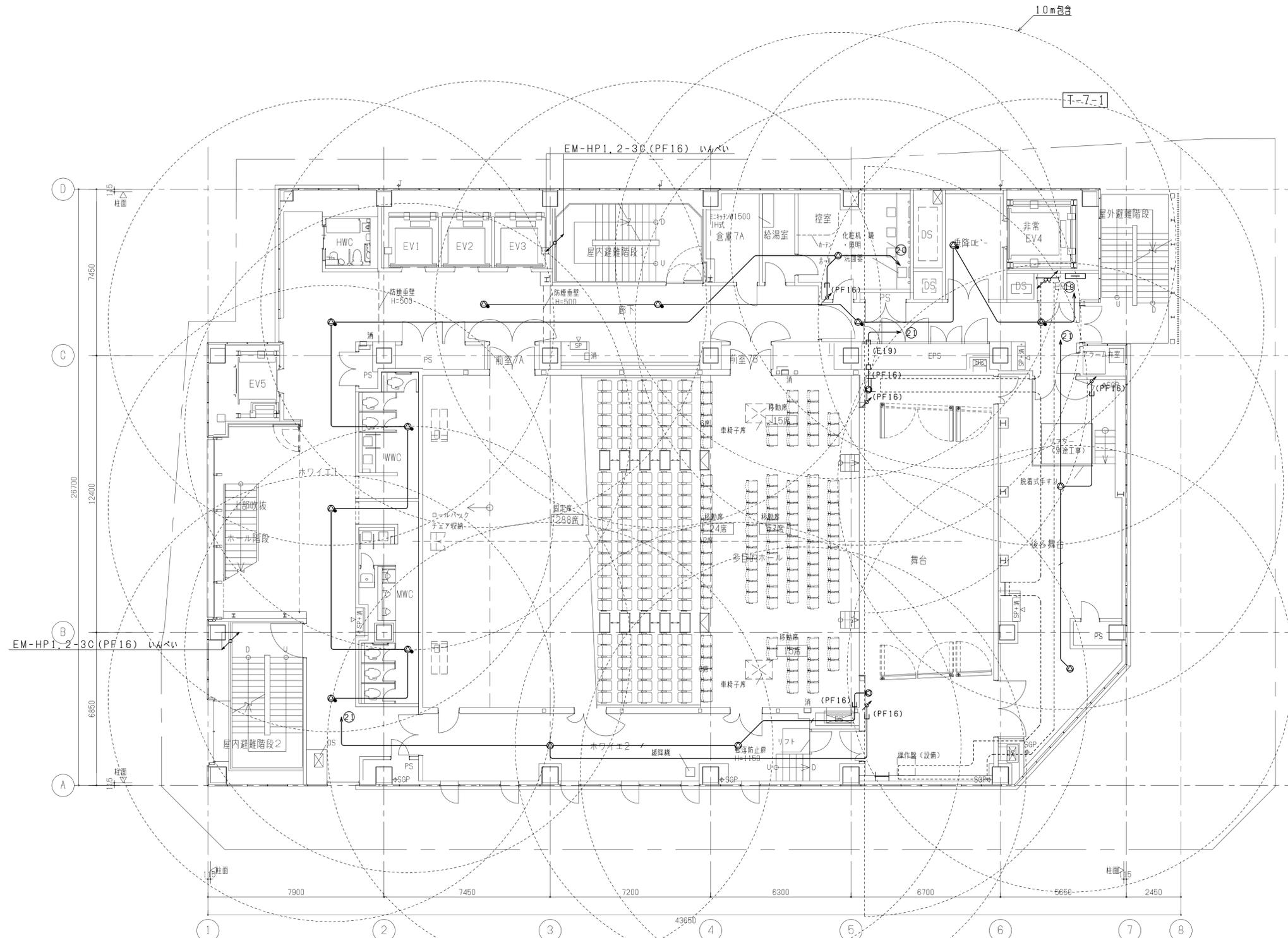


6階平面図



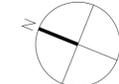
工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	拡声設備 6階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1/100	図面番号 No. 123 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		



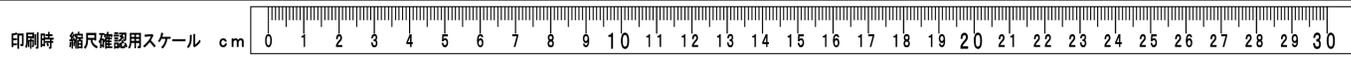


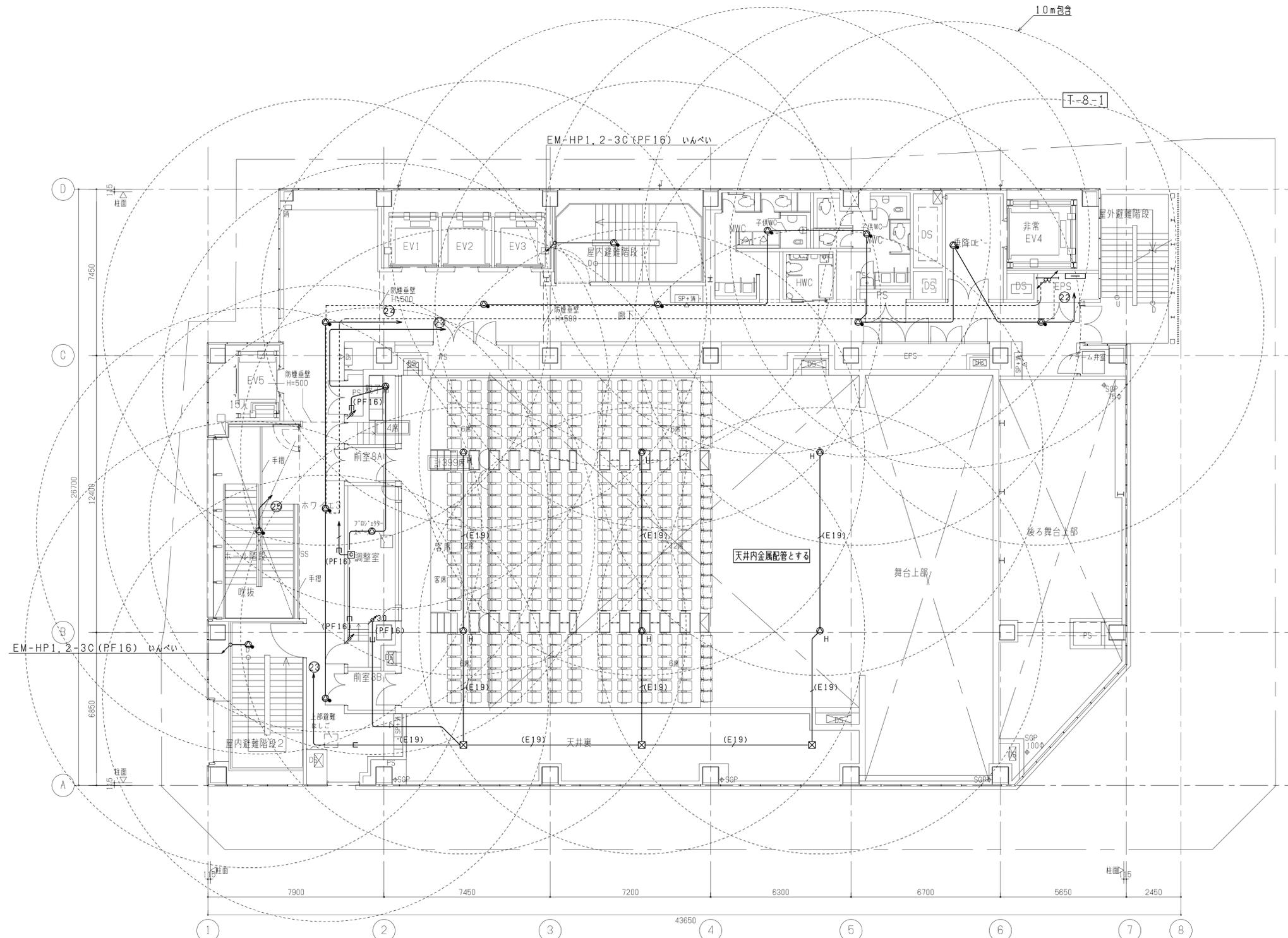
7階平面図

注) 舞台、舞台袖廻りの露出配管、ケーブルラック、盤類は指定色塗装仕上げとする。



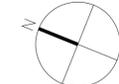
工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	拡声設備 7階平面図	図面サイズ: A 1
縮尺	1/100	図面番号 No. 124 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設





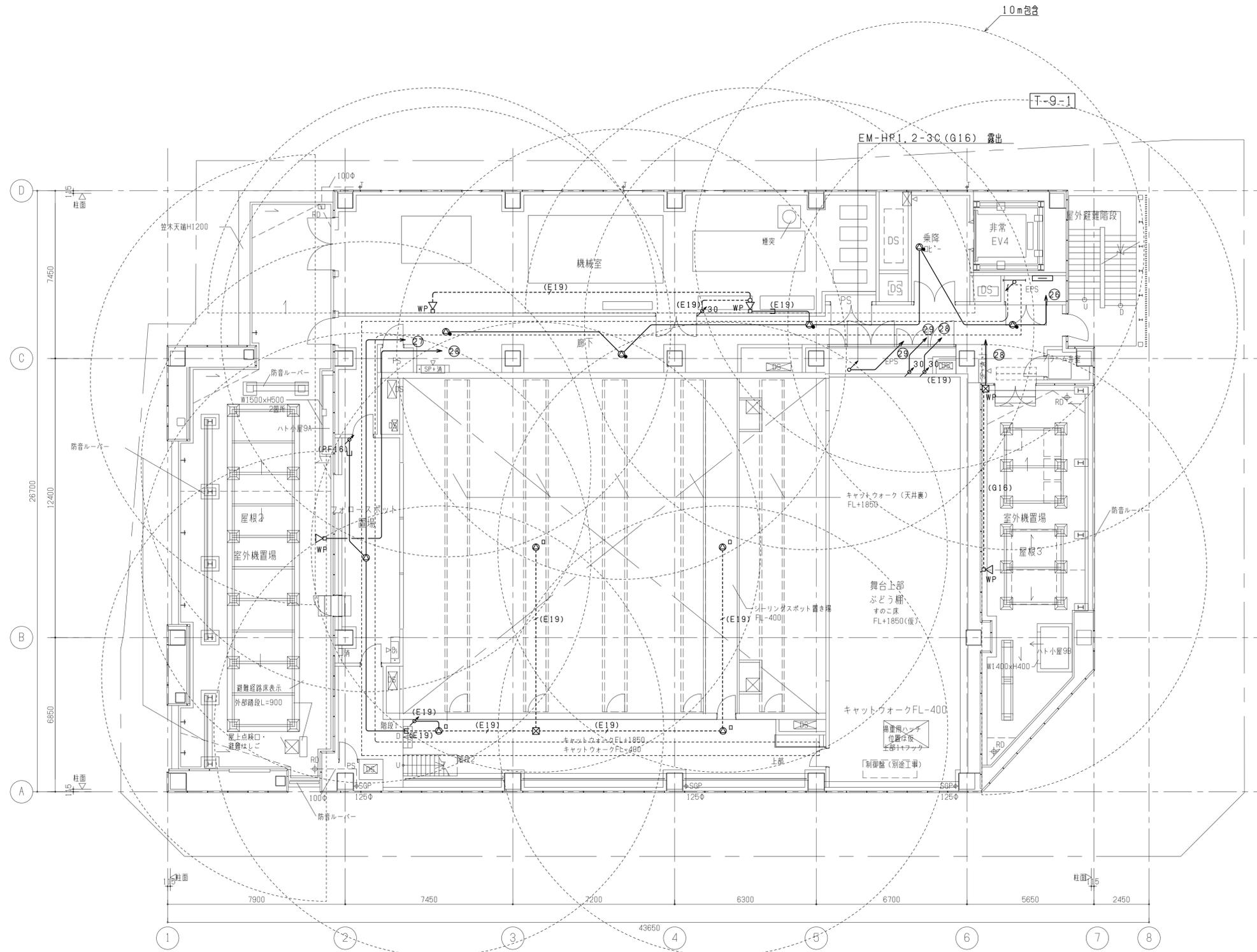
8階平面図

注) 舞台、舞台袖廻りの露出配管、ケーブルラック、盤類は指定色塗装仕上げとする。

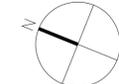


工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	拡声設備 8階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1/100	図面番号 No. 125 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設



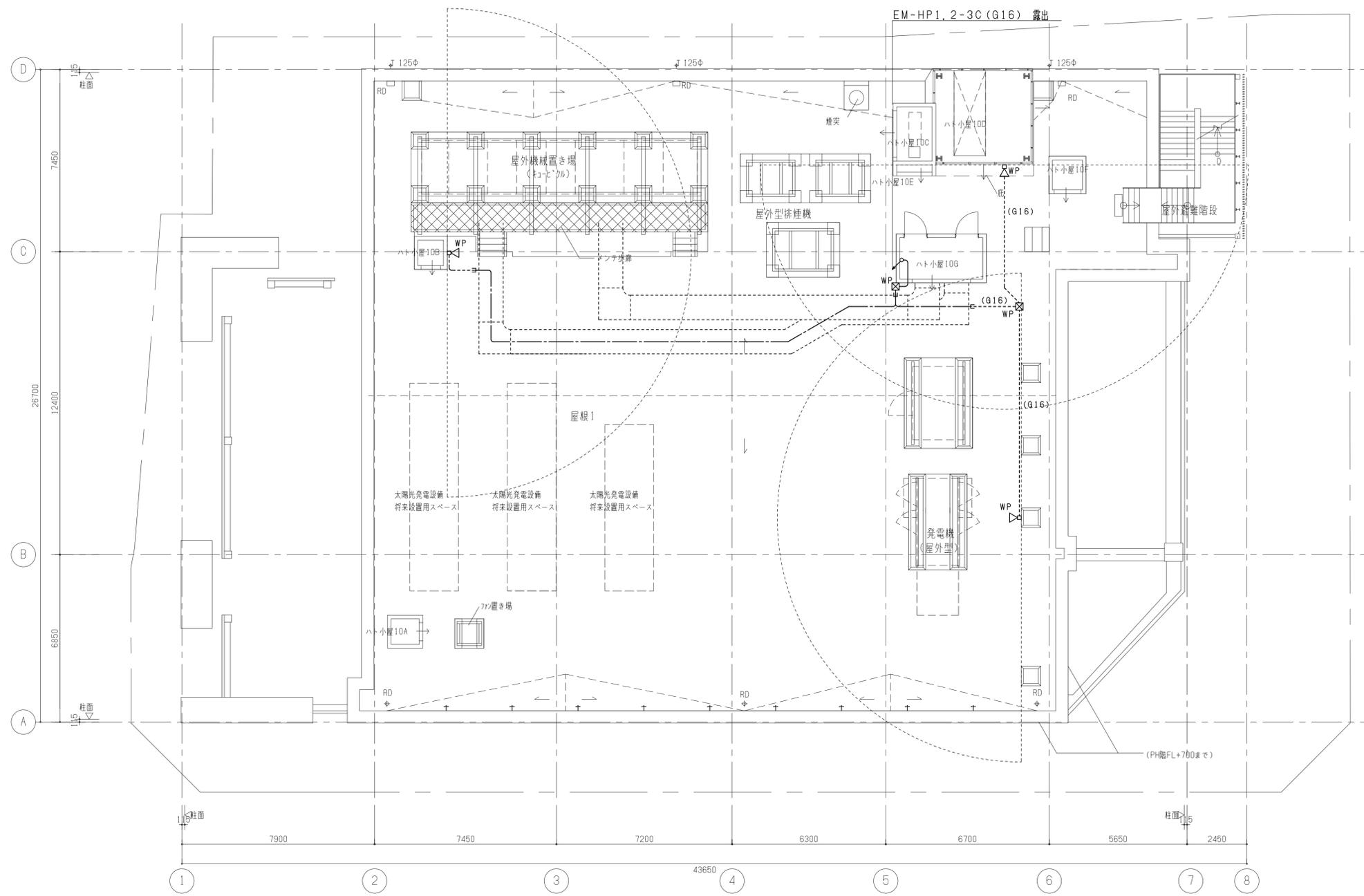


9階平面図



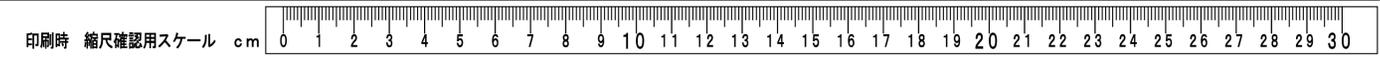
工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	拡声設備 9階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1/100	図面番号 No. 126 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設





屋根伏図

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	拡声設備 屋根伏図	図面サイズ: A1
縮尺	1/100	図面番号 No. 127 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設



(仮称)区画整理記念・交流会館 多目的ホールおよび周辺諸室 音響関係工事特記仕様書
<特記事項> 各工事関係施工者は、下記に示す音響性能目標値の実現に努める 多目的ホールの残響時間目標値 舞台音響反射板設置時 約1.2秒程度(中音域、着席時)
<特記仕様> 本特記仕様書は、(仮称)区画整理記念・交流会館の多目的ホールと周辺諸室 に関して、所期の音響性能を実現するために必要な遮音、吸音構造の材料の 選定、施工等、音響関係工事について規定するものである。
1. 共通事項 1.1. 音響性能目標値の実現について 各工事関係施工者は、特記事項および本特記仕様書に示す音響性能目標値の 実現に努める。本多目的ホールは音響性能が重要であるため、音響に関わる 施工検討会を適宜一定期間継続して実施する。
1.2. 設計・仕様変更の報告と承諾について 施工段階において、種々の理由から設計図書の内容と異なることとなった 施工を行わざるを得なくなった場合、その理由について文章をもって報告し、 監督職員の指示、承諾を受ける。
1.3. 施工図の承諾について 遮音構造、吸音構造、防振構造等、音響に関係した建築施工図および空調設備、 電気音響設備等の建築設備施工図については、施工前に音響上のチェックを 受ける。
1.4. 音響関連材料等の音響性能および調査 次のような音響関連材料のうち特殊なものについては、音響性能試験(JIS 等による)のデータの提出を求めることがある。音響性能データがない材料に ついては測定を実施する。 (1) 防音建具(枠含む)の遮音性能(JIS A 1416に基づく) (2) 客席椅子の吸音力 (3) 消音器等の消音性能 (4) その他特に必要と認められるもの
1.5. 施工上における音響関連工事に関わる確認、検討について 音響関連工事に関わる確認、検討については、工事監理者の了承した音響専門 機関が工事監理者に協力し、技術協力・指導を行う。この音響関連工事に関わ る技術協力、指導費用、改善対策工事費用は施工者の負担とする。
1.6. 検査・測定について 設計で意図した音響性能が得られているかどうか、完工時及び施工中において、 音響専門機関において検査、測定をおこなう。検査・測定の費用は施工者の 負担とする。 その結果、設計で意図した音響性能が得られていない場合には、原因を明らか にし改善対策についての検討をおこなう。検査・測定の詳細は別にこれを定める。 (1) 施工中に検査・測定を実施する場合、各工事関係者は随時、開口や除囲を ふさぐ等の協力が努める。 (2) 完工時の検査・測定の際、備品納入者は、必要な備品類が備え付けられた 状態で検査・測定が実施できるように、備品納入時期の調整をおこなう。 (3) 上記(1)、(2)および意図した音響性能が得られていない場合の改善 対策にかかる工事費用は施工者負担とする。
2. 建築工事 2.1. 遮音・防振構造 遮音工事にあたり、除囲処理、気密性の確保、ブリッジ回避等、細心の注意を 払って施工する。 (1) 材料 a. 指定のものを必ず使用する。不明な場合は、工事監理者に必要に応じて 音響専門機関を含む、以下同様)に見本を提出し承諾を受ける。 b. グラスウール、ロックウール等の吸音材については、用途種別、厚さ、 密度について指定のものを使用する。 (2) 除囲の防止と気密性の確保 a. コンクリート躯体の"豆板" "す"等は、はつたあとモルタルで補修を おこなう。 b. 配電盤、非常用設備等の設置により、遮音壁の厚さに変化が生じた場合は、 必ず背面に遮音層を追加する。 c. コンクリートブロックと躯体間、ボード等遮音構造を意図した部位間の 除囲、ALCの目地等、遮音壁の取り合い部の除囲に対しては、構成材料 の持つ遮音性能が十分に得られるよう除囲を処理する。除囲の処理は、 (油性)コーキング材充填、モルタル充填、石膏ボード増貼、鉛シート貼 等により入念におこなう。 d. 遮音層を貫通する吊りボルト、支持金物等との除囲に対しては同様に コーキング又はグラスウール充填等遮音種別の仕様にあわせて施工する。 e. ダクト、パイプの遮音層貫通部は、除囲がないよう施工する。 f. 防音扉の扉枠と躯体、サッシと躯体の間の除囲については、モルタル 詰めをおこなう。 g. 防音扉周辺のゴムパッキンの調整、エアタイト及びグレンハンドルの 引き寄せの調整は、特に念入りに行い気密性を保つようとする。 h. 防音扉の戸当り、召し合わせの調整は、責任を持っておこなう。

(3) 浮き構造の施工 a. 防振層と躯体との間には、ブリッジがないようにする。 b. 浮き構造をダクト、パイプ等が貫通する場合には、ブリッジが生じない ようにする。 c. 防振ゴムは、均等に正規の加重がかかるように調整する。 d. 防振支持系の固有振動数は10Hz以下とする。 e. 詳細図とともに計算書を提出する。
2.2. 吸音構造及びピリツキの防止 (1) 吸音構造 a. 必ず指定のものを使用する。不明な場合には、必ず工事監理者に見本を 提出し承諾を受ける。 b. とくに間違いない材料は、つぎのとおりである。 イ) グラスウール、ロックウール ロ) 有孔板(孔径、ピッチ) ハ) 若綿成形板(メーカ、施工法により吸音特性が異なる) ニ) 木毛セメント板と木片セメント板(普通級と硬質級) ホ) 吹付材 c. グラスウール、ロックウール等の吸音材は、必ずJIS A 6301の 吸音材料に規定された製品を使用する。厚さ、密度についても指定のもの を使用する。 d. 有孔板の孔径、孔中心間隔、リブの寸法、ピッチは必ず指定されたものを 使用する。 e. 有孔板の裏打ち原紙については、特に指示のない限り、取りはずしてから 施工する。 f. 吸音材、有孔板等の表面の塗料及び塗装方法については、予め工事監理者 の承諾を得る。 g. 有孔板、無孔板等の背後の空気層については、指示どおり吸音材と躯体と の間に設ける。特に厚さを確保することに留意する。 h. 有孔板、グラスウール、空気層の組み合わせによる吸音構造については、 特にお互いの位置関係に注意し、これについては詳細図を作成し、予め 工事監理者の承諾を得る。 1. 木毛セメント板、木片セメント板については、厚さや製品の違いにより 特性に差が生じやすいため、予め工事監理者の承諾を得る。 (2) ピリツキの防止 内装およびその下地は、ピリツク音が生じない施工とする。また、置忘 れたビス等の廃材がピリツク音を誘引することがあるので置忘れがないよう 留意する。
3. 建築設備工事 3.1. 室内許容騒音目標値 本体工事特記仕様書と齟齬がある場合、本音響特記仕様書が優先する。 多目的ホールの室内許容騒音の目標値はNC-25程度とする。 会議室①大、対面朗読室についてはNC-30程度
3.2. 機器の選定と騒音・振動データの提出 a. 空調、給排水衛生、電気、昇降設備等の機器類は、できるだけ騒音及び 振動の少ない機器を選定する。なお、必要に応じて運転時の騒音、振動の データの提出を求めることがある。 b. 送風機・ポンプ、冷凍機、エレベータ、エスカレータなどの主要な設備 機器については、騒音、振動についてのデータを提出する。特に送風機に ついては、発生騒音のパワーレベル資料を提出する。その結果異常が認め られた場合には変更をするか、あるいはメーカ側においてしかるべき 対策をおこなう。 c. 音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、イン パータ系統、スピーカー系統などから、ノイズ等が混入しないように注意 する。ノイズ等が発生する機器については、電源側にノイズカットトラ ンスの設置等の対策を施す。
3.3. 工場検査 送風機等主要な機器については、工場検査時に工事監理者立会いのもと発 生騒音、振動の検査・測定を行う。
3.4. 機器、ダクト、パイプの防振工事 a. 騒音及び振動となり得るホール周辺の機器、ダクト、パイプ、変圧器、昇 降設備機器等は原則として防振をおこなう。その範囲については、工事 監理者の指示に従う。 b. 各防振材については、できるだけ所定の荷重が均等にかかるよう調整する。 c. 機器の防振支持構造については、詳細図とともに計算書を提出する。
3.5. ダクト、パイプの躯体及び遮音構造の貫通 a. 原則として、遮音構造への貫通は行わないものとする。 b. 躯体への振動伝達防止、除囲よりの音洩れの防止を図る。 c. 浮き構造貫通部については、ブリッジが生じない構造とする。
3.6. 空調、換気設備 (1) ダクト a. 風速の過大、風量のアンバランス等によって、渦流音が発生しないような ダクト配置、ダクトサイズを選定する。 b. 吸音ダクトは、吸音エルボまたは吸音チャンバとし、必要に応じて消音器、 内張ダクト等を用いる。吸音ダクトの内貼り材料は、とくに指示がない 限り、厚さ50mm以上、密度32kg/m ³ 以上のグラスウールまたはロ ックウールとする。

c. ホール系統の空調用SAダクトの取付は共仕記載の適用表示厚さの1サイ ズアップとし、下記を適用する。 ダクト長辺長さ 適用表示厚さ 450以下 0.6 450を超え750以下 0.8 750を超え1,500以下 1.0 1,500以上 1.2 (2) 風量調整 施工後は風量を調整し、その結果を工事監理者に報告する。 (3) 施工上の注意点 a. 送風機騒音は、設計目標値を満足するものでなければならない。 b. 吸音不足のダクトからの音洩れによる障害があってはならない。そのお それがある場合には、吸音ダクトの設置、機器やダクトの遮音をおこなう。 c. ダクトを通してのクロストークのおそれがある箇所には、吸音ダクトを 設置する。 d. 排煙ダクトを通して外部騒音侵入、風音の発生があると考えられる場所 には、吸音ダクト又はガラリチャンパー内に遮蔽板を設ける。 e. 室外機、クーリングタワー、外気取り入れ口、排気口からの騒音は境界線 において環境基準を満足するものでなければならない。
4. 舞台設備工事 4.1. 室内許容騒音目標値 本体工事特記仕様書と齟齬がある場合、本音響特記仕様書が優先する。 多目的ホールの室内許容騒音の目標値はNC-25程度とする。 会議室①大、対面朗読室・・・NC-30程度
4.2. 舞台機構・舞台照明設備 a. 舞台機構、舞台照明設備に関連する機器は、できるだけ騒音及び振 動の少ない機器を選定する。 b. それらの機器については必要に応じて騒音及び振動データの提出を求める ことがある。その結果異常が認められた場合はしかるべき対策を講じる。 c. 吊り物、昇降装置の作動時に異常騒音の発生がないことを確認する。 d. 照明、調光器の動作時に異常騒音の発生がないことを確認する。 e. 音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、イン パータ系統、スピーカー系統などから、ノイズ等が混入しないように注意 する。ノイズ等が発生する機器については、電源側にノイズカットトラ ンスの設置等の対策を施す。
4.3. 舞台音響設備 (1) 電気音響設備動作特性の目標値 電気音響設備動作特性の目標値を以下に示す。このときの動作スピーカーは 固定設備における拡声用スピーカーとする。舞台席は設置時、状態(式典、 講演会形式)にて実施する。 a. 伝送周波数特性 ばらつき10dB以内 (ピンクノイズ信号にて、160~5kHz内の1/3オクターブ中心周波 数) b. 音圧レベル分布 ばらつき6dB以内 (中心周波数4kHzオクターブバンドノイズ信号にて) c. 安全拡声利得 -10dB以上 (舞台中央・司会者位置を擬似音源とし、ピンクノイズ信号にて) d. 最大再生音圧レベル 95dB(c)以上 (ピンクノイズ信号にて) e. 残留雑音 NC-20以下 (最大再生音圧レベル95dB(c)を得られる状態にて、調整卓チャ ネルフェーダを絞り切った状態)
4.4. 機器取り付け及び調整 (1) スピーカ取り付けにあたっての注意点 a. スピーカ本体、吊り装置等が建物躯体、内装などに接触しないようにする。 b. 内装開口面との取り合いについては、十分に打ち合せを行って施工する。 c. ホーンスピーカーは角度の調整が容易にできるよう余裕を十分にとり取り 付ける。 d. 設置方法によっては防振支持をおこなう。 (2) 各機器及び据付け工事 a. 各機器の選定については工事監理者の承諾を得る。音響機器はモデル チェンジのサイクルが短いため、竣工時に出来る限り新しい機器を納入 できるように柔軟に対応する。 b. とくに調整室内各機器類、操作盤および端子盤の接続については、使用 材料、施工方法等、施工詳細図を提出し、工事監理者の承諾を得る。 c. 各機器類は完工までにはこり、過度の湿気、熱気等により損傷が与えられ ないように対策する。 (3) ノイズの防止 a. 音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、イン パータ系統、スピーカー系統などから、ノイズ等が混入しないように注意 する。ノイズ等が発生する機器については、電源側にノイズカットトラ ンスの設置等の対策を施す。 b. 音響用回線シールド、各線間の離隔、ボンディングアース等の必要な対策 を確実におこなう。音響用回線との回線を平行して配線する場合は特に 注意し、必要な離隔距離をとる。

(4) 調整 機器類を接続し正常動作を確認した後、各機器の入出力レベルの設定、音 量や音質を調整し、設計で意図した性能を満足させること。場合によつて はスピーカーの向きや位置を変更することもある。余裕をもった工程と すること。調整は、物理特性の確認とともに、聴感によっても判断する。																																																																																																																																																																																																																																									
4.5. 検査、調整および設備取扱い説明 a. 製作機器について、現場搬入前に所定の性能に調整した後、工事監理者 立会いのもとに検査測定をおこなう。各機器の調整後の検査、測定結果 報告書は立会い検査時に提出する。 b. 機器設置工事完了後、仕様書・調整基準に従って総合的なテストをおこ ない、正常なる動作を確認する。 c. 本工事完了引渡後、操作マニュアルを作成し、担当者に対して設備機器 の取扱い及び操作方法、その他説明を要する場合は、協議の上、一定期間 説明をおこなう。																																																																																																																																																																																																																																									
<音響検査・測定仕様> 1. 工事完了後の検査・測定 工事完了後、下記のを領にて前述1.5に指定する音響専門機関(1.6項 参照)により音響検査測定をおこない、その結果を工事監理者に報告をする。																																																																																																																																																																																																																																									
2. 検査・測定計画書の作成 検査・測定実施者は、事前に検査・測定計画書の作成を行い工事監理者に提出 し、その承諾を得てから検査および測定を実施するものとする。																																																																																																																																																																																																																																									
3. 備品納入時期と測定時期の調整 完工時の検査・測定の際、備品納入者は、必要な備品類が備え付けられた状態 で検査・測定が実施できるように、備品納入時期の調整をおこなう。																																																																																																																																																																																																																																									
4. 対象室および検査・測定項目 <多目的ホールおよびその周辺>																																																																																																																																																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検査・測定項目</th> <th colspan="2">室内音響性能</th> <th colspan="2">建築音響性能</th> <th colspan="6">電気音響設備動作特性</th> </tr> <tr> <th>残響時間</th> <th>Eコクタムパターン (対多目的ホール側)</th> <th>防音建具の遮音性能</th> <th>空調設備騒音(NC値)</th> <th>ピリツキ試験</th> <th>伝送周波数特性</th> <th>音圧レベル分布</th> <th>安全拡声利得</th> <th>最大再生音圧レベル</th> <th>残留雑音</th> <th>試験試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール用調整室</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>多目的ホール用ワイエ</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	検査・測定項目	室内音響性能		建築音響性能		電気音響設備動作特性						残響時間	Eコクタムパターン (対多目的ホール側)	防音建具の遮音性能	空調設備騒音(NC値)	ピリツキ試験	伝送周波数特性	音圧レベル分布	安全拡声利得	最大再生音圧レベル	残留雑音	試験試験	多目的ホール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	多目的ホール用調整室				○	○							多目的ホール用ワイエ			○	○																																																																																																																																																																																						
検査・測定項目		室内音響性能		建築音響性能		電気音響設備動作特性																																																																																																																																																																																																																																			
	残響時間	Eコクタムパターン (対多目的ホール側)	防音建具の遮音性能	空調設備騒音(NC値)	ピリツキ試験	伝送周波数特性	音圧レベル分布	安全拡声利得	最大再生音圧レベル	残留雑音	試験試験																																																																																																																																																																																																																														
多目的ホール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																														
多目的ホール用調整室				○	○																																																																																																																																																																																																																																				
多目的ホール用ワイエ			○	○																																																																																																																																																																																																																																					
<多目的ホール以外の諸室の空間遮音性の測定位置> 下記諸室の防音扉は全て実施。																																																																																																																																																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">音源</th> <th colspan="12">受音</th> </tr> <tr> <th>7F</th> <th colspan="2">6F</th> <th colspan="3">5F</th> <th colspan="2">4F</th> <th colspan="2">図書館</th> <th colspan="2">図書館</th> </tr> <tr> <th>多目的ホール</th> <th>会議室①大</th> <th>軽運動室小②</th> <th>会議室①</th> <th>会議室②</th> <th>会議室③</th> <th>軽運動室大①</th> <th>談話室②</th> <th>相談室②</th> <th>対面朗読室</th> <th>会議室②</th> <th>会議室③or④</th> <th>図書館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6F会議室①大</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6F軽運動室小②</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>④</td> <td>①</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6F会議室②</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6F会議室③</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6F会議室④</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5F軽運動室大①</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5F談話室②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5F会議室③or④</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5F会議室⑤</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5F会議室⑥</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5F会議室⑦</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5F会議室⑧</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5F会議室⑨</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5F会議室⑩</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	音源	受音												7F	6F		5F			4F		図書館		図書館		多目的ホール	会議室①大	軽運動室小②	会議室①	会議室②	会議室③	軽運動室大①	談話室②	相談室②	対面朗読室	会議室②	会議室③or④	図書館	多目的ホール	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6F会議室①大	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6F軽運動室小②	○	○	-	④	①	○	○	○	○	○	○	○	6F会議室②	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	6F会議室③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6F会議室④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5F軽運動室大①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5F談話室②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5F会議室③or④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5F会議室⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5F会議室⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5F会議室⑦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5F会議室⑧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5F会議室⑨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5F会議室⑩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
音源		受音																																																																																																																																																																																																																																							
	7F	6F		5F			4F		図書館		図書館																																																																																																																																																																																																																														
多目的ホール	会議室①大	軽運動室小②	会議室①	会議室②	会議室③	軽運動室大①	談話室②	相談室②	対面朗読室	会議室②	会議室③or④	図書館																																																																																																																																																																																																																													
多目的ホール	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
6F会議室①大	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
6F軽運動室小②	○	○	-	④	①	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
6F会議室②	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
6F会議室③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
6F会議室④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
5F軽運動室大①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
5F談話室②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
5F会議室③or④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
5F会議室⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
5F会議室⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
5F会議室⑦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
5F会議室⑧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
5F会議室⑨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
5F会議室⑩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																													
6. 検査・測定報告書の作成 測定完了後4週間以内に音響検査・測定報告書を5部作成し工事監理者に 提出する。 <備考> *工事監理者とは必要に応じて音響専門機関を含む																																																																																																																																																																																																																																									

5. 検査・測定方法 (1) 室内音響性能の測定 a. 残響時間 舞台中央に設置した無指向性音源スピーカー(1.2面体スピーカー)を使用し、 客席代表点(3箇所以上)にて125~8kHzのオクターブバンド 周波数毎に求めた残響波形から残響時間を読み取る。 b. エコータイムパターン 舞台中央に設置した無指向性音源スピーカー(1.2面体スピーカー)を使用し、 客席代表点(3箇所以上)にて短音残響波形(エコータイムパターン)を 観測する。 (2) 建築音響性能の測定 a. 空間の遮音性能 JIS A 1417「建築物の空気音遮断性能の測定方法」に準ずる。 音源側でスピーカーから中心周波数63~4kHz オクターブバンドノイズ を発生させ、音源側および受音側の代表点(原則3箇所、室規模に準 じて増減)でオクターブバンドレベルを測定し、その差から室間平均音圧 レベル差として遮音性能を求める。 b. 防音建具の遮音性能 JIS A 1417「建築物の空気音遮断性能の測定方法」に準ずる。 音源側でスピーカーから中心周波数63~4kHz オクターブバンドノイズ を発生させ、音源側および受音側の代表点(原則2箇所、室および建具 規模に準じて増減)でオクターブバンドレベルを測定し、その差から 特定場所間平均音圧レベル差として遮音性能を求める。 c. 空調設備騒音(NC値) 空調機運転状態における各室のオクターブバンドレベルを代表点数点で 測定し、その値からNC値を求める。 d. ピリツキ試験 設備スピーカーから50Hz~2000Hzまでの正弦波を発生させ、びりつ く箇所がないことを聴感上にて確認する。 (3) 電気音響設備動作特性の測定 動作スピーカーは、固定設備における拡声用スピーカーとする。(その他、) a. dの項目については拡声用に加えて効果音用スピーカーを個別に動作させた状態 に於いても実施する。 a. 伝送周波数特性 各スピーカーからピンクノイズ信号を再生させ、舞台上代表点(2箇所以上、 拡声用および効果音用スピーカーを動作時)および客席代表点(6箇所 以上)において、31.5~20,000Hzの1/3オクターブ毎に 中心周波数の音圧レベルを読み取り、周波数特性を求める。 b. 音圧レベル分布 拡声用スピーカーから中心周波数4kHzのオクターブバンドノイズを 再生させ、客席各点(1列、1席おき)における音圧レベルを読み取る。 c. 安全拡声利得 舞台中央・司会者位置において拡声用マイクロホンを使用し、ハウリン グを生ずるレベルより利得を6dB小さくした状態で、擬似音源スピーカ からピンクノイズ信号を発生させる。この状態でマイク面の音圧レベルと、 ホール内拡声状態における客席代表点(室中央)の音圧レベルとの差を 求める。 d. 最大再生音圧レベル 各スピーカーからピンクノイズ信号を、歪なく再生できる最大レベルで再生 させ、客席代表点(室中央)における音圧レベルを読み取る。 e. 残留雑音 d. 最大再生音圧レベルを確認後、調整卓チャンネルフェーダを絞りきり、 客席における音圧レベル分布で最大の席において(1箇所以上)のオク ターブバンドレベル(dB)を読み取り、NC値を求める。暗騒音も 同様に於いて測定する。 f. 試験試験 拡声用マイクによる拡声音および再生音が、正常であることに加え、良 好な音質や充分な音量であることを確認する。
6. 検査・測定報告書の作成 測定完了後4週間以内に音響検査・測定報告書を5部作成し工事監理者に 提出する。 <備考> *工事監理者とは必要に応じて音響専門機関を含む

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和	元	年度
図面名称	音響特記仕様書	図面サイズ: A 1		
縮尺	-	図面番号	No. 128	(166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		設計事務所	株式会社 大建設	

特記仕様書

1. 音響・映像設備概要

本ホールにおける様々な催し物に対応すべく、音響・映像設備を設置する。
 拡声においては建築音響との整合を図り、客席各所にて十分な音圧レベル且つ明瞭性を得るものとする。
 ロールバック席設置時及び平土間利用時のいずれにおいても均一な拡声が可能なものとする。
 映像投影は、大型スクリーン投射に十分な輝度を持つプロジェクターを使用する。
 舞台上に簡易操作卓を設置し、調整室の操作を行わず利用者が簡単に操作可能なシステムとする。
 また、舞台の様相をカメラ撮影し、収録ならびにロビーへの映像配信が可能なものとする。
 ロビーにIPカメラを設置し、観客の状況を調整室にて確認が可能なものとする。
 タブレット端末によるデジタルミキサーの遠隔操作が可能なものとする。

2. 主要機器・性能

音響調整卓	デジタルミキサー 32in 16out Danteネットワーク対応
プロセニアムスピーカ	ワンボックス2ウェイ型
サイドスピーカ	アレー型+サブウーハー
ステージフロントスピーカ	フルレンジ パスレフ型
シーリングスピーカ	2ウェイバスレフ型
ワイヤレスマイクシステム	B型ワイヤレスマイクシステム
舞台操作卓	タッチパネル操作方式(音響調整フェーダー併用型)
ビデオプロジェクター	レーザー光源、光出力12000ルーメン
インターカムシステム	A/B2チャンネル、有線方式

3. 電気的特性と正常動作の確認

- 1) 電気的特性
- マイクホン増幅器から電力増幅器出力までの各系統について次の項目を記載する。
 - a) 周波数測定
 - b) 歪 率
 - c) 雑音レベル
- 2) 正常動作の確認
- マイクホン・スピーカを全て接続し、正常動作の確認を行なう。特に注意すべき項目は次による。
 - a) 各スピーカの位相
 - b) ワイヤレスマイクのデッドポイント
 - c) 異状雑音の混入
 - d) メータの指示レベル
 - e) 各入出力のコネクタの位相、接続不良
 - f) 各操作個所の正常動作確認
 - g) 上記の項目に対し検査証を提出の事

4. 機器・その他の資材

資材については、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)によるか、監督職員の承諾する相当品以上のものとする。又、規格品外及び製造者の指定のないものは監督職員の承諾を受けものとする。
 メーカー・型番表記は参考とし、同等品以上とする。

5. 電気音響特性の測定

- 施工終了後下記内容を測定するものとする。
- a) 伝送周波数特性
 - b) 最大再生音圧レベル
 - c) 音圧レベル分布偏差
 - d) 安全拡声利得
 - e) 残留雑音レベル

6. 報告書の提出

- 報告書には次の項目を記載する。
- a) 各測定結果および合否判定
 - b) 測定時の状況(測定した時間帯、室温、湿度)
 - c) 使用したスピーカ
 - d) 測定点

7. 音響目標性能

- 1) プロセニアム形式
 駆動スピーカ: プロセニアムスピーカ、サイドスピーカ、ステージフロントスピーカ
- a) 伝送周波数特性 160~5000Hzにおけるばらつきが10dB以内(ピンクノイズにて)
 - b) 最大再生音圧レベル 95dB(F)以上(ピンクノイズ、客席代表点において)
 - c) 音圧レベル分布偏差 6dB以内(4kHzオクターブバンドノイズにて)
 - d) 安全拡声利得 -10dB以上(舞台上中央設置のマイクで拡声を行ったとき)
 - e) 残留雑音レベル NC-20以下(再生音圧レベル設定時)

- 2) 平土間形式
 駆動スピーカ: シーリングスピーカ

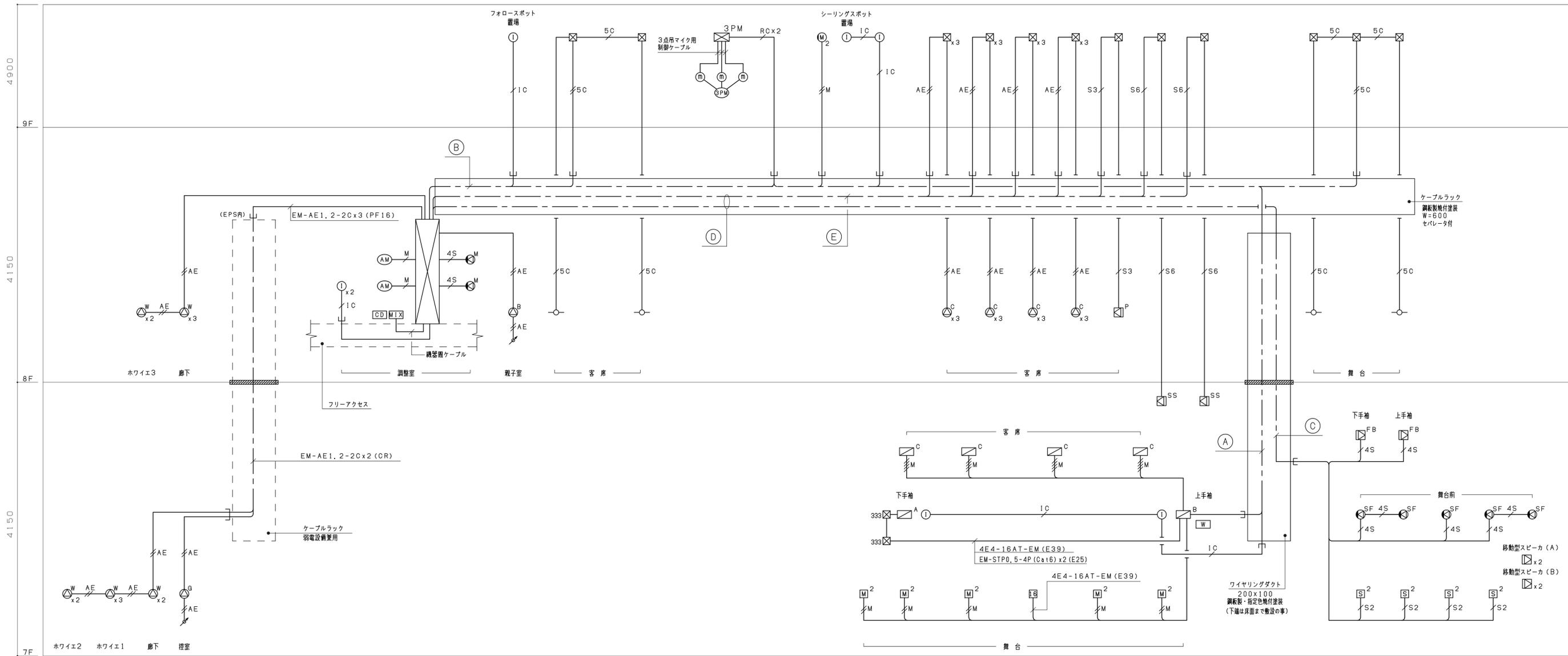
- a) 伝送周波数特性 160~5000Hzにおけるばらつきが10dB以内(ピンクノイズにて)
- b) 最大再生音圧レベル 90dB(F)以上(ピンクノイズ、客席代表点において)
- c) 音圧レベル分布偏差 6dB以内(4kHzオクターブバンドノイズにて)
- d) 安全拡声利得 -10dB以上(舞台上中央設置のマイクで拡声を行ったとき)
- e) 残留雑音レベル NC-20以下(再生音圧レベル設定時)

8. その他

- ・天井吊り機器、壁付機器については標準の取付方法とは別に落下防止措置を施すこと。
- ・舞台、舞台袖廻りの露出配管、ケーブルラック、盤類は指定色塗装仕上げとする。
- ・工事区分は工事区分表(1)~(3)による。
- ・防火区画貫通処理、遮音区画貫通処理については防火区画貫通処理図(1)~(3)、遮音区画貫通処理図(1)(2)を参照とする。

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	舞台音響映像設備 特記仕様書	図面サイズ: A1
縮 尺	-	図面番号 No. 129 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		設計事務所 株式会社 大建設





記号	名称	記号	名称
MI	音響調整卓	A	下手袖コンセント盤
CD	効果機器卓	B	上手袖コンセント盤
□	入出力パッチ架/電力増幅架	C	客席内コンセント盤
P	プロセニアムスピーカ	W	舞台袖操作卓
SS	サイドスピーカ	M2	壁付マイクコンセント (2ヶ口)
FB	固定はね返りスピーカ	M2	フロアマイクコンセント
SF	ステージフロントスピーカ	S2	フロアスピーカコンセント
C	シーリングスピーカ	E	床マルチコンセント
M	コントロールモニタースピーカ	I	インターカムコンセント
W	ホワイエスピーカ	3PM	三点吊りマイク
G	控室スピーカ	3PM	電動三点吊りマイク装置制御盤 (操作部共)
B	観客室スピーカ	M	三点吊りマイク用駆動部
△	アッテネータ (0.5W~6W)	□	プルボックス (銅板製・塗装有り)
AM	エアモニターマイク	□	特記無きプルボックスは200x200x200
○	ワイヤレスアンテナ	□333	333 : 300x300x300

注1) ワイヤリングダクトは平ふたセパレータ付とし、指定色塗装とする。
 注2) ケーブルラックはセパレータ付とする。
 注3) 防火区画貫通処理、遮音区画貫通処理については防火区画貫通処理図(1)~(3)、遮音区画貫通処理図(1)(2)を参照とする。

記号	配線凡例	配線使用時
M	4E6AT-EM	(PF16)(E19)
M	4E6AT-EMx2	(PF22)(E25)
M	4E6AT-EMx4	(PF28)(E31)
4S	4S8-EM	(PF22)(E25)
S	4S8-EMx2	(PF28)(E31)
S2	4S11-EMx2	(PF28)(E31)
S3	4S11-EMx3	(E39)
S6	(4S11-EMx2(E31))x3	
AE	EM-AE1.2-2C	(PF16)(E19)
I	4E5AT-EMx2	(PF16)(E19)
RC	EM-CPEE0.9-10P	(E39)
5C	EM-S-5C-FB	(PF16)(E19)
5C	EM-S-5C-FBx2	(PF22)(E25)

注) は防火区画処理を示す。
 (防火区画貫通部は、国土交通大臣設定工法にて区画貫通処理を施すこと)
 ・露出配管部はE管とし、指定色塗装とする。

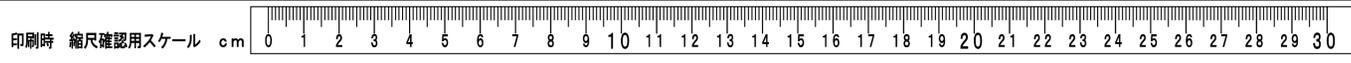
- (A) (入力系)
- 4E4-12AT-EM
 - 4E4-16AT-EMx4
 - EM-STP0.5-4P (0a16)x5
 - EM-CPEE0.9-10P
 - EM-CPEE0.9-3P
 - 4E5AT-EMx2
- (ワイヤリングダクト内)
- (D) (出力系)
- 4S8-EMx2
 - 4S8-EMx3
 - 4S11-EMx8
 - 4S11-EMx12
 - 4S11-EMx3
 - EM-AE1.2-2Cx4
- (ケーブルラック内)

- (B) (入力系)
- 4E4-12AT-EM
 - 4E4-16AT-EMx4
 - EM-STP0.5-4P (0a16)x5
 - EM-CPEE0.9-10P
 - EM-CPEE0.9-3P
 - 4E5AT-EMx2
 - 4E5AT-EMx4
 - 4E6AT-EMx2
 - EM-S-5C-FBx4
- (ケーブルラック内)

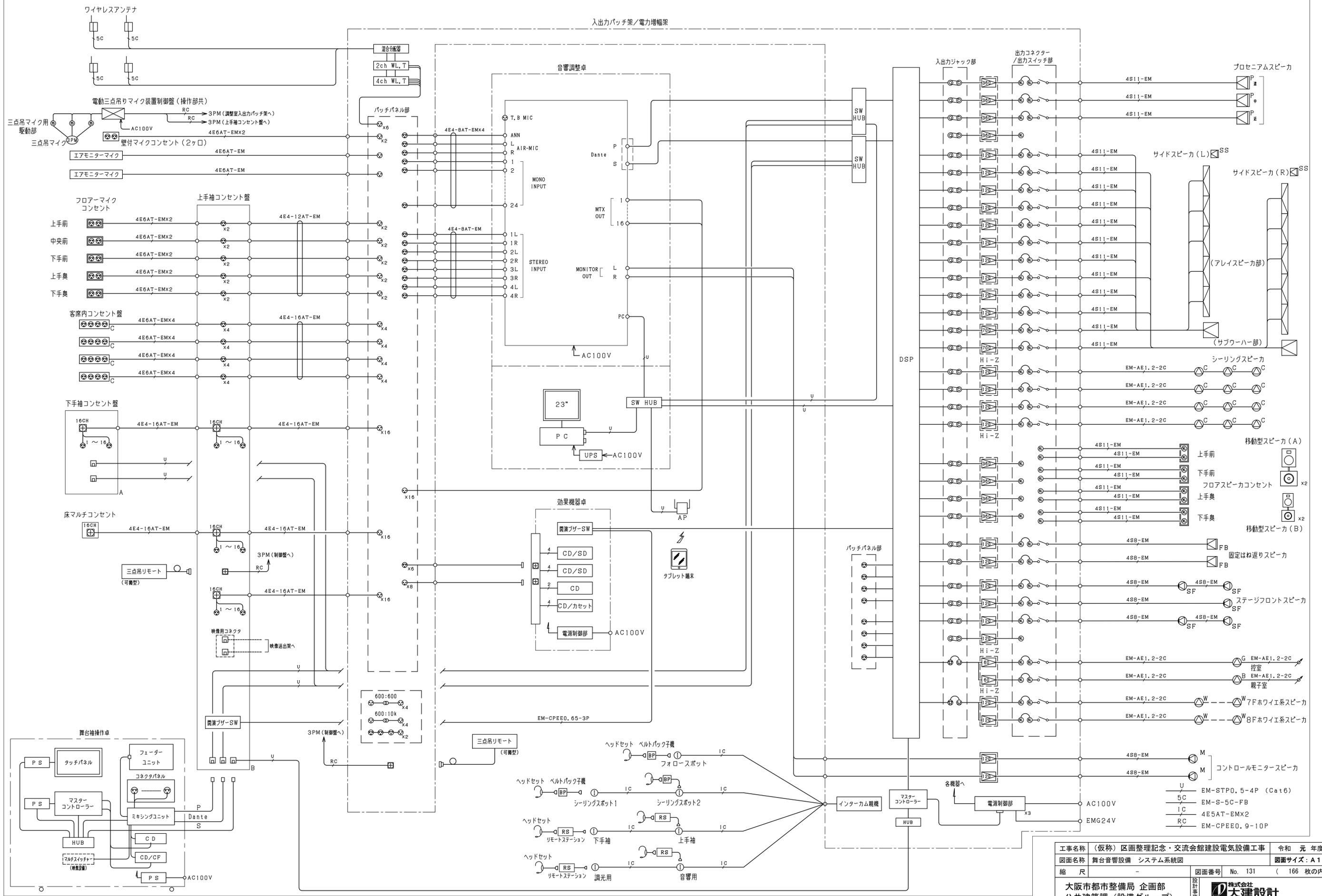
- (C) (出力系)
- 4S8-EMx2
 - 4S8-EMx3
 - 4S11-EMx8
- (ワイヤリングダクト内)

- (E) (出力系)
- 4S11-EMx12
 - 4S11-EMx3
 - EM-AE1.2-2Cx4
- (ケーブルラック内)

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	舞台音響設備 系統図	図面サイズ: A1
縮尺	-	図面番号 No. 130 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設計



音響設備 システム系統図



工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	舞台音響設備 システム系統図	図面サイズ: A1
縮尺	-	図面番号 No. 131 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設計



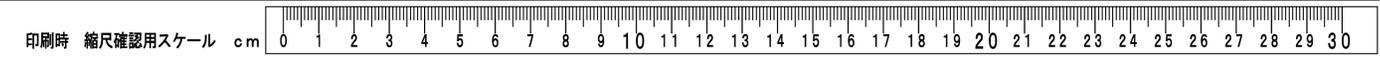
機器構成表(1)

図中表記のメーカー、型番、形状、寸法、重量等は参考とし、性能上・機能上に於いて同等品以上を採用とする。

No.	機器名称	数量	仕様・定格	備考				
1	音響調整卓 デジタルミキサー	1式						
		(1)	入力回路 出力回路 信号処理分解能 その他	32(モノ24+ステレオ4)、エアマイク、アナウンスマイク、TBマイク×各1 マトリクス出力×16、モニター(L、R)×1 48kHz 32bit オプションカードスロット×3 (各スロットでアナログ入出力8ch、デジタル入出力8ch、 ネットワークオーディオ入出力16chいずれか対応) 制御用LAN、パターンメモリー×96、 ハウリングサプレッサー×24 デジタルリバーブ×2、フェーダーピッチ25mm 16ch入出力DANTEカード×2 AC100V 120W				
		23型液晶カラーモニター	(1)	電源 ディスプレイパネル	23型フルHD液晶 DVI-D24ピン×1(HDCP対応)、HDMI×2、PCx1、音声×1			
		制御PC	(1)	OS 機能・性能	Windows10 Professional プロセッサ:Core(TM)i7-4770プロセッサ相当以上、メモリー:4GB以上 HDD:500GB以上、表示:1920×1080ピクセル以上、 ウェブブラウザ:1Eバージョン1以降、その他:制御ソフト、1/Fユニット付			
		UPS PoE HUB	(1)	機能 ポート数	出力容量:750VA/450W、バッテリー容量:12V/7.2Ah/2番 8ポート(10/100/1000BASE-T)			
			(1)	拡張スロット	2ポート(SFP) 10/100/1000TとSFPは排他利用			
			(1)	ネットワーク接続	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TX			
			(1)	給電能力	1~8ポートに最大30.0Wの給電が可能(最大合計240W給電可能)			
		アクセスポイント	(1)	準拠規格 伝送方式	IEEE802.11ac/IEEE802.11n/IEEE802.11a/IEEE802.11g/IEEE802.11b 直接拡散スペクトラム拡散(DS-SS方式)、直交変調周波数分割多重変調(OFDM方式)、単信(半二重)			
		補卓	(1)	アクセス制御方式 機能 その他	CSMA/CD ミキサー用台、OAデスク、椅子付 遮断操作タブレット×1 リトライト			
		2	コントロールモニタースピーカ 12cmコーン形スピーカ	2台				
					形式 許容入力 入力インピーダンス 周波数特性 出力音圧レベル(1W/1m) 使用スピーカ その他	フルレンジ バスレフ型 120W(連続プログラム)/60W(RMS) 8Ω 50Hz~16kHz(-20dB) 91dB(1m・1W) 12cmコーンスピーカ 天井取付用金具付		
				3	効果機器卓 メモリーレコーダー	1式		
						(2)	記録メディア 録音再生フォーマット	SDカード、USBメモリー、CD-R/CD-RW CD-DA、MP3、WAV
						CDプレーヤー	(1)	対応メディア 再生ファイル形式 アナログ出力 機能
CD/カセット	(1)					カセットレコーダー部 トラック形式 CDプレーヤー部 使用ディスク USBレコーダー/プレーヤー部 フォーマット	4トラック 2チャンネル・ステレオ CD/CD-R/CD-RW(12cm/8cm) MP3	
開演プザースイッチパネル	(1)					パネルサイズ	1U	
電源制御ユニット(15A)	(1)					電源 ACコンセント	AC100V 効果機器卓給電容量:75W 非連動×2、連動×9(全コンセント合計最大14、8A以下)	
システムラック(内部配線含む)	(1)					材質	鋼板製、キャスター付き 全面20Uラックマウント取付、コネクタパネル付	
4	入出力パッチ架 パッチパネル部 ワイヤレス受信機(2ch) ワイヤレス受信機(4ch) ワイヤレス混合分配器 デジタルプロセッサ					1式		
						(1)	使用コネクタ	XLRC型、数量はシステム系統図による
						(1)	アンテナ入力 受信周波数	50Ω 2系統 2回路 800MHz帯 30波中 任意の2波
						(1)	アンテナ入力 受信周波数	50Ω 2系統 2回路 800MHz帯 30波中 任意の4波
						(1)	混合分配機能 周波数帯域	α・β各2入力、α・β各4分配 806MHz~810MHz帯
						(1)	入出力	IN:DanteX1、アナログ×8 OUT:アナログ×28
		5	電力増幅架 パワーアンプ(A) パワーアンプ(B) パワーアンプ(C) パワーアンプ(D) パワーアンプ(E)			1式		
						(1)	映像出力 制御 その他	D-sub15ピン、DVI-D、HDMI RS232C、USB、RJ-45 開演プザー音源 編込
				(3)	ポート数 拡張スロット ネットワーク接続 給電能力	8ポート(10/100/1000BASE-T) 2ポート(SFP) 10/100/1000TとSFPは排他利用 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TX 1~8ポートに最大30.0Wの給電が可能(最大合計240W給電可能)		
				(1)	制御/入出力	RS-232C×3、RS232/422/485×1、IR/シリアル×4、 1/O×4、リレー×4、Ethernet×1、USB×1 1CSLAN×1、AXLink×1		
				(1)	使用コネクタ	XLRC型 数量はシステム系統図による		
				(1)	電源 ACコンセント	AC100V 案内機器給電容量:1600W 非連動×2、連動×9(全コンセント合計40A以下)、非常放送用設備端子付		
				(1)	使用コネクタ	SRGN2A25-24S×1		
				(1)	規格	EIA19インチラックマウントパネルに準拠、ケーブル引込パネル、端子部付		
				(1)	定格出力 周波数特性	700W×2ch(8Ω)、1000W×2ch(4Ω) 20Hz~20kHz		
(2)	定格出力 周波数特性			360W×4ch(8Ω)、560W×4ch(4Ω) 20Hz~20kHz				
(3)	定格出力 周波数特性			200W×4ch(4Ω)、120W×4ch(8Ω)、400W×2ch(BTL 8Ω) 20Hz~20kHz				
(3)	定格出力 周波数特性			200W×2ch(4Ω)、120W×2ch(8Ω)、400W(BTL 8Ω) 20Hz~20kHz				
(1)	定格出力 周波数特性			60W+60W 170Ω 20Hz~20kHz±0.5dB				

No.	機器名称	数量	仕様・定格	備考												
6	プロセニアスピーカ 2ウェイスピーカ	1組														
		(3)	形式 許容入力 入力インピーダンス 周波数特性 出力音圧レベル 使用スピーカ 部材	2Way バスレフ型 1000W/500W(連続プログラム/RMS) 8Ω 35Hz~20kHz(-20dB、半自由空間) 100dB(1W/1m) LF:38cmコーンスピーカ、HF:SCWGホーン(60°×40°) フライング金具X1式、昇降用ケーブル受けカゴX1式												
		7	サイドスピーカ アレイスピーカ	2組												
				(5)	形式 許容入力 入力インピーダンス 周波数特性 出力音圧レベル 使用スピーカ	アレイ方式フルレンジバスレフ型 320W/160W(連続プログラム/RMS) 8Ω 80Hz~20kHz 92dB(1W/1m) 長円型コーンユニット×16										
				8	固定はね返りスピーカ 20cm2ウェイスピーカ	2組										
							形式 許容入力 入力インピーダンス 周波数特性 出力音圧レベル 使用スピーカ その他	2Way バスレフ型 260W/130W(連続プログラム/RMS) 8Ω 40Hz~20kHz(-20dB、半自由空間) 93dB(1W/1m) LF:20cmコーンスピーカ HF:SCWGホーン(60°×60°) 壁面取付金具付								
						9	シーリングスピーカ 20cm2ウェイスピーカ	12台								
									形式 定格入力 入力インピーダンス 周波数特性 出力音圧レベル 使用スピーカ その他	2ウェイバスレフ形 160/80W(連続プログラム入力/RMS) 8Ω 66Hz~20kHz 92dB(1W/1m) 低音用:20cmコーン、高音用:TBホーン マッチングトランス(30W)付						
								10	ステージフロントスピーカ	5台						
											形式 許容入力 入力インピーダンス 周波数特性 出力音圧レベル(1W/1m) 使用スピーカ その他	フルレンジ バスレフ型 120W(連続プログラム)/60W(RMS) 8Ω 50Hz~16kHz(-20dB) 91dB(1m・1W) 12cmコーンスピーカ 取付金具付				
										11	ホワイエ系スピーカ	12台				
													形式 定格入力 入力インピーダンス 周波数特性 出力音圧レベル 使用スピーカ その他	2ウェイ密閉型 160W/80W(連続プログラム/RMS) 8Ω 110Hz~20kHz 91dB(1m、1W) 16cm同軸ユニットディフューザー付 マッチングトランス(15W)付		
												12	控室系スピーカ	1台		
															形式 定格入力 入力インピーダンス 周波数特性 出力音圧レベル 使用スピーカ	フルレンジバスレフ型 30W 330Ω、1kΩ、2kΩ 90Hz~20kHz 87dB(1m/1W) 12cmコーン型
														13	親子室スピーカ	1台
	形式 定格入力 入力インピーダンス 周波数特性 出力音圧レベル 使用スピーカ															フルレンジバスレフ型 30W 330Ω、1kΩ、2kΩ 110Hz~18kHz 87dB(1m/1W) 12cmディフューザー付同軸ユニット
14	移動型スピーカ(A) 2ウェイスピーカ															2組
		(1)	形式 許容入力 入力インピーダンス 周波数特性 出力音圧レベル 使用スピーカ その他													2Way バスレフ型 1000W/500W(連続プログラム/RMS) 8Ω 35Hz~20kHz(-20dB、半自由空間) 100dB(1W/1m) LF:38cmコーンスピーカ、HF:SCWGホーン(60°×40°) スピーカマウントホルダ付
		15	サブワウハー													1台
					形式 許容入力 使用スピーカ											バスレフ型 1200W/600W(連続プログラム/RMS) 46cmコーンスピーカ

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	舞台音響設備 機器構成表(1)	図面サイズ: A1
縮尺	-	図面番号 No. 132 (166枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課(設備グループ)		株式会社 大建設



機器構成表(2)

図中表記のメーカー、型番、形状、寸法、重量等は参考とし、性能上・機能上に於いて同等品以上を採用とする。

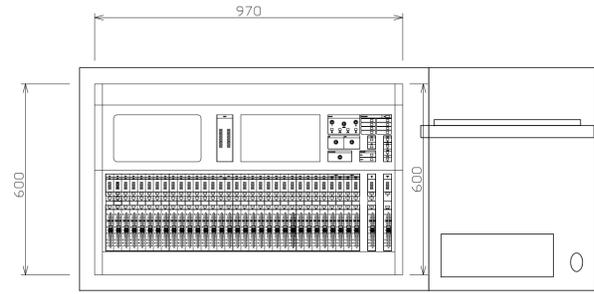
No.	機器名称	数量	仕様・定格	備考
15	移動型スピーカ(B) 2ウェイスピーカ	2組 (1)	形式	2WAY バスレフ型
			許容入力	400W/200W(連続プログラム/RWS)
	サブワハー	(1)	形式	バスレフ型
			許容入力	900W/450W(連続プログラム/RMS)
16	舞台操作卓 マスターコントローラー	(1)	制御/入出力	RS-232C X6、RS232C/422/485 X2、IR/シリアル X8、 I/O X8、リレー X8、Ethernet X1、USB X1 ICSLan X1、AXLink X2
			ディスプレイ	10.1インチアクティブマトリクスIPSディスプレイ、アスペクト比 16:9
	タッチパネルモニター	(1)	タッチオーバーレイ	静電容量方式、3点マルチタッチ
			その他	ラックマウント金具付
	マスターコントローラー電源	(1)	定格出力電圧	12VDC
			最大出力電流	4.3A
	タッチパネルモニター電源部	(1)	出力電圧	48VDC
			最大出力電流	375mA
	PoEスイッチングHUB	(1)	ポート数	8ポート(10/100/1000BASE-T)
			拡張スロット	2ポート(SFP) 10/100/1000TとSFPは排他利用
	ミキシングユニット	(1)	ネットワーク接続	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TX
			給電能力	1~8ポートに最大15.4Wの給電が可能(最大合計60W給電可能)
	フェーダーユニット	(1)	アナログ入力	モノラルX8、ステレオX2、トータル12ch
			アナログ出力	8アウトプット、プロセッサ搭載
	CD/カセット	(1)	制御LAN、パターンメモリ	X96
			その他	16ch入出力DANTEカードX1
	メモリーレコーダー	(1)	フォーマット	MP3
			記録メディア	SDカード、USBメモリー、CD-R/CD-RW
	入出力コネクタパネル	(1)	録音再生フォーマット	CD-DA、MP3、WAV
			電源制御ユニット	電源 AC100V 操作卓内機器総容量:500W
	吸納卓	(1)	ACコンセント	非運動X2、運動X9 (全コンセント合計最大14、8A以下)
17	上手袖コンセント盤	1面	使用コネクタ	FK37-32S、XLR3-31(32)-F77、RJ-45 (数量はシステム系統図参照)
			ボックス	鋼板製 露出型
18	下手袖コンセント盤	1面	使用コネクタ	FK37-32S、XLR3-31(32)-F77、RJ-45 (数量はシステム系統図参照)
			ボックス	鋼板製 露出型
19	客席内コンセント盤	4面	使用コネクタ	XLR4型
			プレート	プレート:新金属4ヶ用プレート
20	フロアマイクコンセント	5個	適合ボックス	JIS規格4ヶ用スイッチボックス適合
21	フロアスピーカコンセント	4個	使用コネクタ	XLR3-31-F77X2
			ボックス	床埋込型
22	床マルチコンセント	1個	材質	アルミニウム珪物
23	壁付マイクコンセント(2ヶ口)	1個	使用コネクタ	NL-4 X2
			プレート	床埋込型
24	エアモニターマイク コンデンサーマイク	2台 (1)	材質	アルミニウム珪物
25	ワイヤレスアンテナ	4台	入力周波数	806MHz~810MHz帯
			出力周波数	260MHz帯
26	電動三点吊りマイク装置	1式	取得方法	壁取付
			適合ボックス	JIS規格2ヶ用スイッチボックス
			電源	AC100V 500W
			操作方法	操作方法は調整室内及び上手袖コンセント盤の各々の可搬型リモート操作器による
			巻取り速度	6m/分
			構成	電動巻上機 X3:22kg/台、天井貫通滑車 X3:4kg/台、 化振棒 X3:約400g/台、オモリX3:1kg/台、ステレオバー X1:約400g、 可搬型リモート操作器X2(入出力パッチ架、上手袖コンセント盤に接続)接続ケーブルX2 制御盤X1 専用3点吊りマイク用制御ケーブルX3本付(長さは現場合わせとする)

No.	機器名称	数量	仕様・定格	備考
27	インターカム機器類 インターカム機	1式 (1)	形式	電源部およびインターカムラインを持つラックマウント型 メインステーション スピーカ付
			チャンネル数	2チャンネル
	インターカムリモートステーション	(4)	ラインインピーダンス	10kΩ(ターミネーション付)
			システムレベル	-15dBV、0dBV MAX
	インターカムコンセント ベルトパック	(7) (3)	ヘッドセットマイク/リアンプ	入力レベル:-55dBV、-10dBV MAX
			ヘッドフォンアンプ	出力レベル:+20dBV(600Ω)
	インターカムヘッドセット	(11)	スピーカアンプ	出力レベル:2W(16Ω) スピーカレベル:98dB SPL
			コネクター	ヘッドセット:NC4FDL-1X1
	ダイナミックマイク	(7)	リモートステーション用ボックスに組み込み	
			使用コネクター	XLR3型A、Bch 切替スイッチ
	ダイナミックマイクA	(7)	形式	1chベルトパック型リモートステーション
			機能	1系統を選択し通信
	ダイナミックマイクB	(2)	その他	ヘッドセット出力付
			指向性	単一指向性
	ダイナミックマイクC	(9)	マイク感度	-65dB±3dB
			ヘッドフォン	ダイナミック型
	ダイナミックマイクD	(2)	ヘッドフォン感度	-106dB±3dB
28	マイクロホン ダイナミックマイクA	1式 (7)	指向特性	カーディオイド
			周波数特性	50Hz~15kHz
	ダイナミックマイクB	(2)	インピーダンス	150Ω
			開回路感度	-54.5dB re 1V/Pa
	ダイナミックマイクC	(9)	指向特性	カーディオイド
			周波数特性	50Hz~15kHz
	ダイナミックマイクD	(2)	インピーダンス	150Ω
			開回路感度	-54.5dB re 1V/Pa
	ダイナミックマイクE	(1)	その他	スイッチ付
			指向特性	カーディオイド
	ダイナミックマイクF	(1)	周波数特性	40~15,000Hz
			指向特性	スーパーカーディオイド
	コンデンサーマイクA	(2)	周波数特性	50Hz~16kHz
			インピーダンス	150Ω
	コンデンサーマイクB	(2)	開回路感度	-51dB re 1V/Pa
			指向特性	スーパーカーディオイド
	コンデンサーマイクC	(1)	周波数特性	30Hz~20kHz
			インピーダンス	350Ω
	コンデンサーマイクD	(1)	開回路感度	-51dB re 1V/Pa
			指向特性	カーディオイド
	コンデンサーマイクE	(5)	周波数特性	30Hz~17kHz
			インピーダンス	200Ω
	コンデンサーマイクF	(4)	開回路感度	2.0mV/Pa ±3dB(自由音場、無負荷、1kHz)
			指向特性	カーディオイド
	ワイヤレスマイクA (ハンド型)	(4)	周波数特性	20Hz~20kHz
			インピーダンス	200Ω以下
	ワイヤレスマイクB (タイプン型)	(2)	形式	コンデンサー型
			指向特性	カーディオイド
	ケーブル類	1式	周波数特性	20Hz~20kHz
			インピーダンス	200Ω以下
	パッチケーブル(50cm)	(30)	形式	コンデンサー型
			指向特性	全指向性/単一指向性
	パッチケーブル(1m)	(10)	周波数特性	40Hz~18kHz
			感度	-48dB
	マイクケーブル(5m)	(10)	出力インピーダンス	250Ω±20% 平衡
			形式	コンデンサー型
	マイクケーブル(10m)	(10)	指向特性	全指向性/単一指向性
			周波数特性	40Hz~18kHz
	変換ケーブル類	(1)	感度	-48dB
			移動用LANケーブル(5m)	長さ 5m 両端コネクタ付
	移動用LANケーブル(10m)	(2)	長さ	10m 両端コネクタ付
			16CHマルチケーブル(5m)	長さ 5m 両端コネクタ付
	16CHマルチケーブル(10m)	(2)	長さ	10m 両端コネクタ付
			パラパラボックス	使用コネクタ XLR3-31(F77)X16、XLR3-32(F77)X16、FK37-31S-RX1、FK37-32S-RX1
29	マイクスタンド類	1式	マイクスタンド(卓上型)	長さ 5m 両端コネクタ付
			マイクスタンド(フロア型)	長さ 10m 両端コネクタ付
	マイクスタンド(ブーム型)	(2)	長さ	5m 両端コネクタ付
			ブーム(A)	長さ 10m 両端コネクタ付
		(12)	ブームアーム長	840mm

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	舞台音響設備 機器構成表(2)	図面サイズ: A1
縮尺	-	図面番 No. 133 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課(設備グループ)		設計事務所 株式会社 大建設計

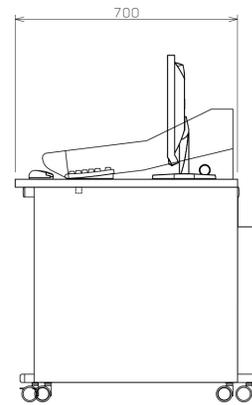
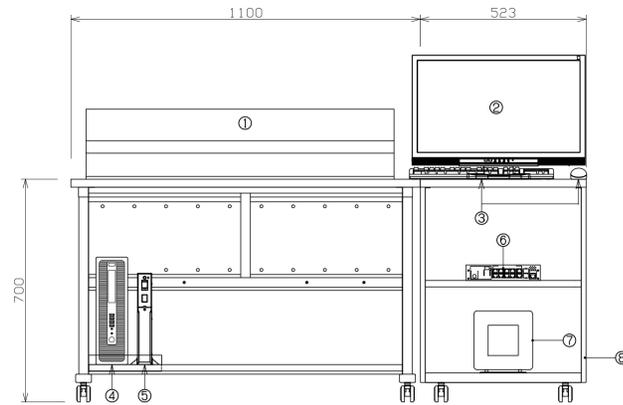


1 音響調整卓

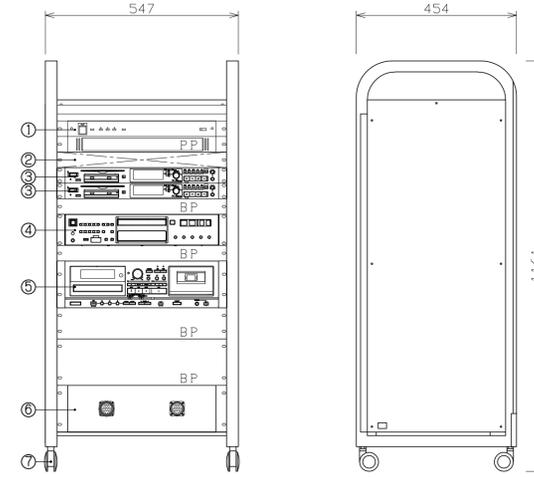


No.	名称
①	デジタルミキサー
②	23型液晶カラーモニター
③	キーボード・マウス
④	制御PC
⑤	UPS
⑥	PoE HUB
⑦	アクセスポイント
⑧	操作卓本体

※調整用椅子を見込む事。

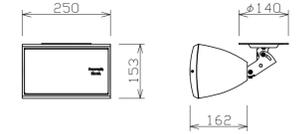


3 効果機器卓

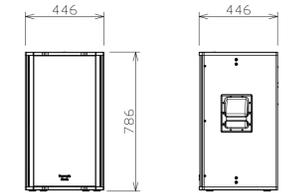


No.	名称
①	電源制御ユニット
②	開演プザースイッチパネル
③	メモリーレコーダー
④	CDプレーヤー
⑤	CD/カセット
⑥	コネクタパネル
⑦	システムラック
BP	ブランクパネル
PP	パンチングパネル

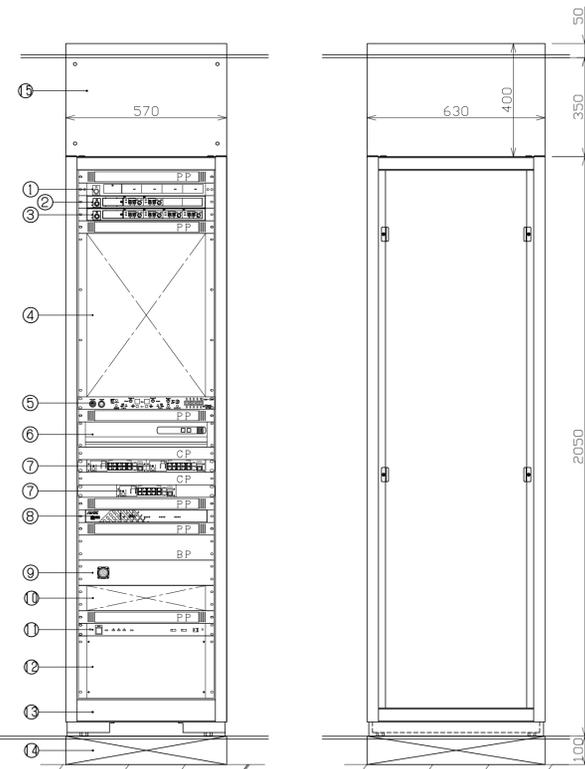
2 コントロールモニタースピーカ



6 プロセシアムスピーカ

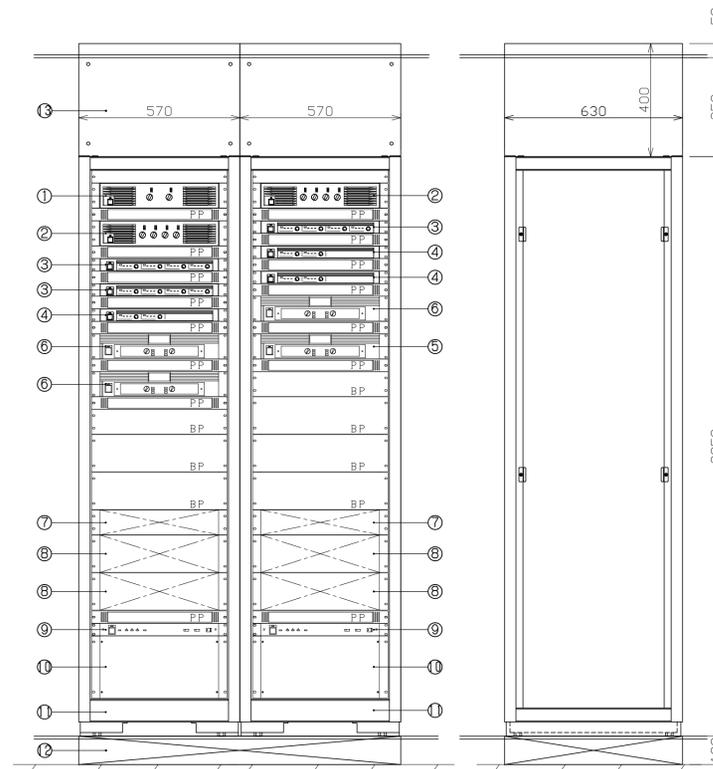


4 入出力パッチ架



No.	名称
①	ワイヤレス混合分配器
②	ワイヤレス受信機 (2ch)
③	ワイヤレス受信機 (4ch)
④	パッチパネル部
⑤	インターカム観機
⑥	デジタルプロセッサー
⑦	PoEスイッチングHUB
⑧	マスターコントローラー
⑨	三点吊りモート接続パネル
⑩	入出力ジャック部
⑪	電源制御ユニット
⑫	端子部
⑬	収納架
⑭	OAフロアー用架台
⑮	配線ダクト
BP	ブランクパネル
PP	パンチングパネル
CP	ケーブル処理パネル

5 電力増幅架



No.	名称
①	パワーアンプA
②	パワーアンプB
③	パワーアンプC
④	パワーアンプD
⑤	パワーアンプE
⑥	パワーアンプF
⑦	入出力ジャック部
⑧	出力コネクター/出力スイッチ部
⑨	電源制御ユニット
⑩	端子部
⑪	収納架
⑫	OAフロアー用架台
⑬	配線ダクト
BP	ブランクパネル
PP	パンチングパネル
CP	ケーブル処理パネル

※(天井吊り機器、壁付機器については標準の取付方法とは別に落下防止措置を施すこと。)

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	舞台音響設備 機器姿図 (1)	図面サイズ: A1
縮尺	-	図面番号 No. 134 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設

<p>7 ss サイドスピーカ (アレイスピーカ部)</p>	<p>10 SF ステージフロントスピーカ</p>	<p>14 移動型スピーカ (A)</p> <p>スピーカマウントポール付</p>	<p>16 W 舞台袖操作卓</p> <table border="1" data-bbox="2374 147 2700 420"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>タッチパネルモニター</td></tr> <tr><td>②</td><td>フェーダーユニット</td></tr> <tr><td>③</td><td>ミキシングユニット</td></tr> <tr><td>④</td><td>入出力コネクタパネル</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>マスターコントローラー</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>PoEスイッチングHUB</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>CDノカセット</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>メモリーレコーダー</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>電源制御ユニット</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>収納卓</td></tr> </tbody> </table>			No.	名称	①	タッチパネルモニター	②	フェーダーユニット	③	ミキシングユニット	④	入出力コネクタパネル	⑤	マスターコントローラー	⑥	PoEスイッチングHUB	⑦	CDノカセット	⑧	メモリーレコーダー	⑨	電源制御ユニット	⑩	収納卓
No.	名称																										
①	タッチパネルモニター																										
②	フェーダーユニット																										
③	ミキシングユニット																										
④	入出力コネクタパネル																										
⑤	マスターコントローラー																										
⑥	PoEスイッチングHUB																										
⑦	CDノカセット																										
⑧	メモリーレコーダー																										
⑨	電源制御ユニット																										
⑩	収納卓																										
<p>7 ss サイドスピーカ (サブウーハー部)</p>	<p>11 W ホワイエスピーカ</p>	<p>15 移動型スピーカ (B)</p> <p>スピーカマウントポール付</p>																									
<p>8 Fb 固定はね返りスピーカ</p>	<p>12 W 控室系スピーカ</p>	<p>17 W 上手袖コンセント盤</p>	<p>19 W 客席内コンセント盤</p>	<p>21 W フロアスピーカコンセント</p>	<p>23 W 壁付マイクコンセント (2ヶ口)</p> <p>露出スイッチボックス</p>																						
<p>9 W シーリングスピーカ</p>	<p>13 W 親子室スピーカ</p>	<p>18 W 下手袖コンセント盤</p>	<p>20 W フロアマイクコンセント</p>	<p>22 W 床マルチコンセント</p>	<p>24 AM エアモニターマイク</p>																						

※ (天井吊り機器、壁付機器については標準の取付方法とは別に落下防止措置を施すこと。)

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	舞台音響設備 機器姿図 (2)	図面サイズ: A1
縮尺	-	図面番号 No. 135 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設



26 電動三点吊りマイク装置 27 ヘッドセット

電動三点吊りマイク装置制御盤 (3PM) 500 x 1000 x 200

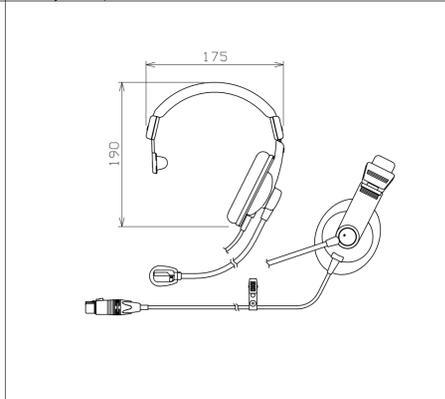
三点吊りマイク用駆動部 360 x 2502 x 380, 435

天井貫通清車 標準長500, 590, 115, 130

マイク吊金具 900, 1900

可搬型リモート操作器 (接続ケーブル付き) ※2台 4000 x 2250 x 1500

ステレオバー 400 x 50

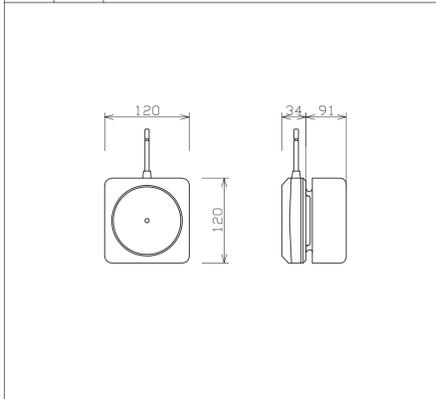


アッテネータ

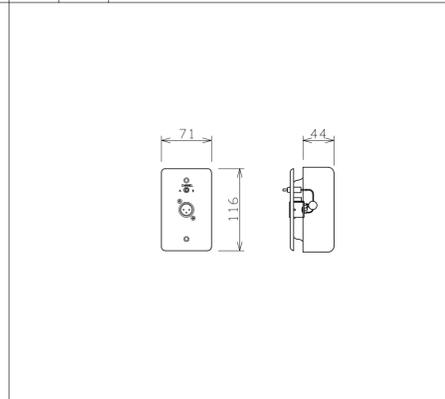
70 x 120 x 49

入力容量	0.5W~6W
入力インピーダンス	20kΩ~1.67kΩ
音量調整	5段階
パネル	新金属
適合ボックス	JIS1個口用スイッチボックス

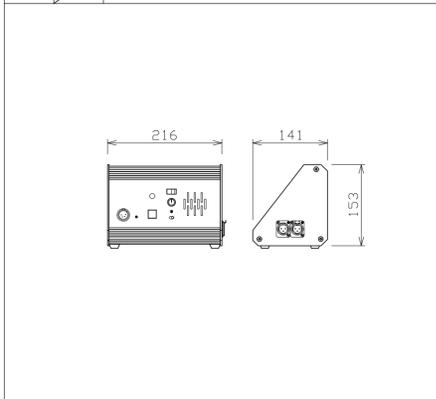
25 ワイヤレスアンテナ



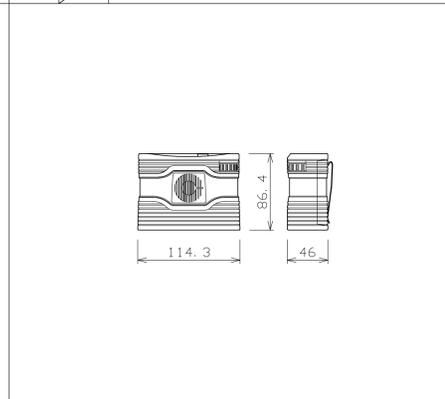
27 インターカムコンセント



27 インターカムリモートステーション



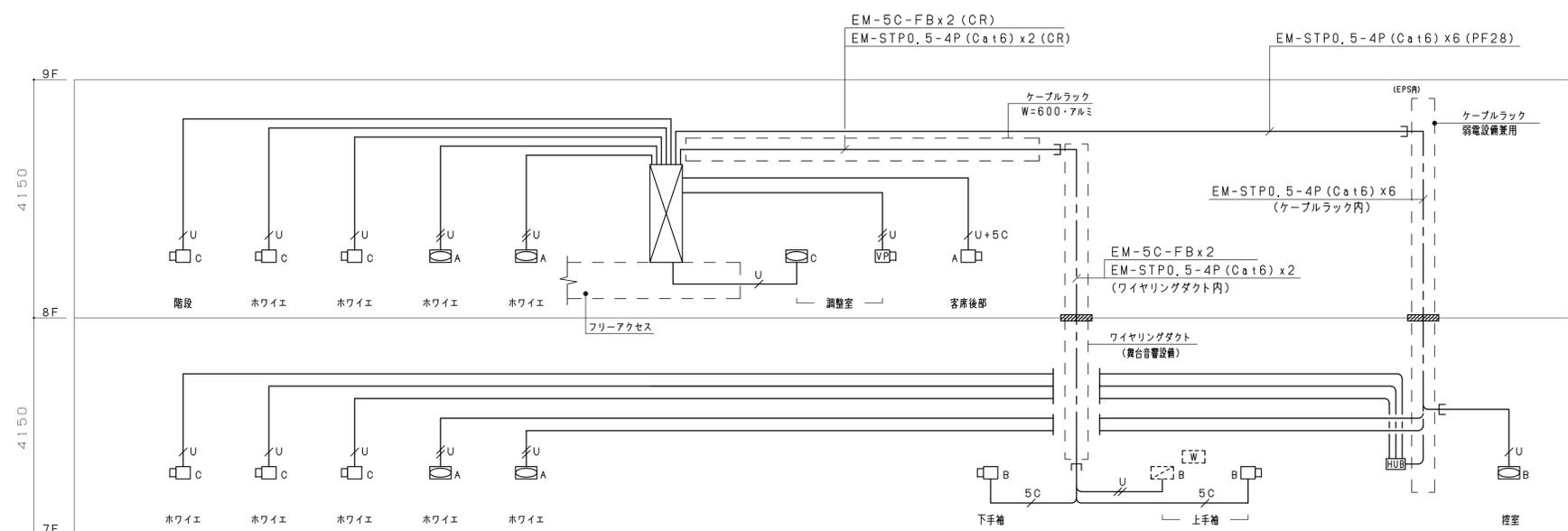
27 ベルトパック子機



※(天井吊り機器、壁付機器については標準の取付方法とは別に落下防止措置を施すこと。)

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	舞台音響設備 機器姿図 (3)	図面サイズ: A1
縮尺	-	図面番号 No. 136 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設





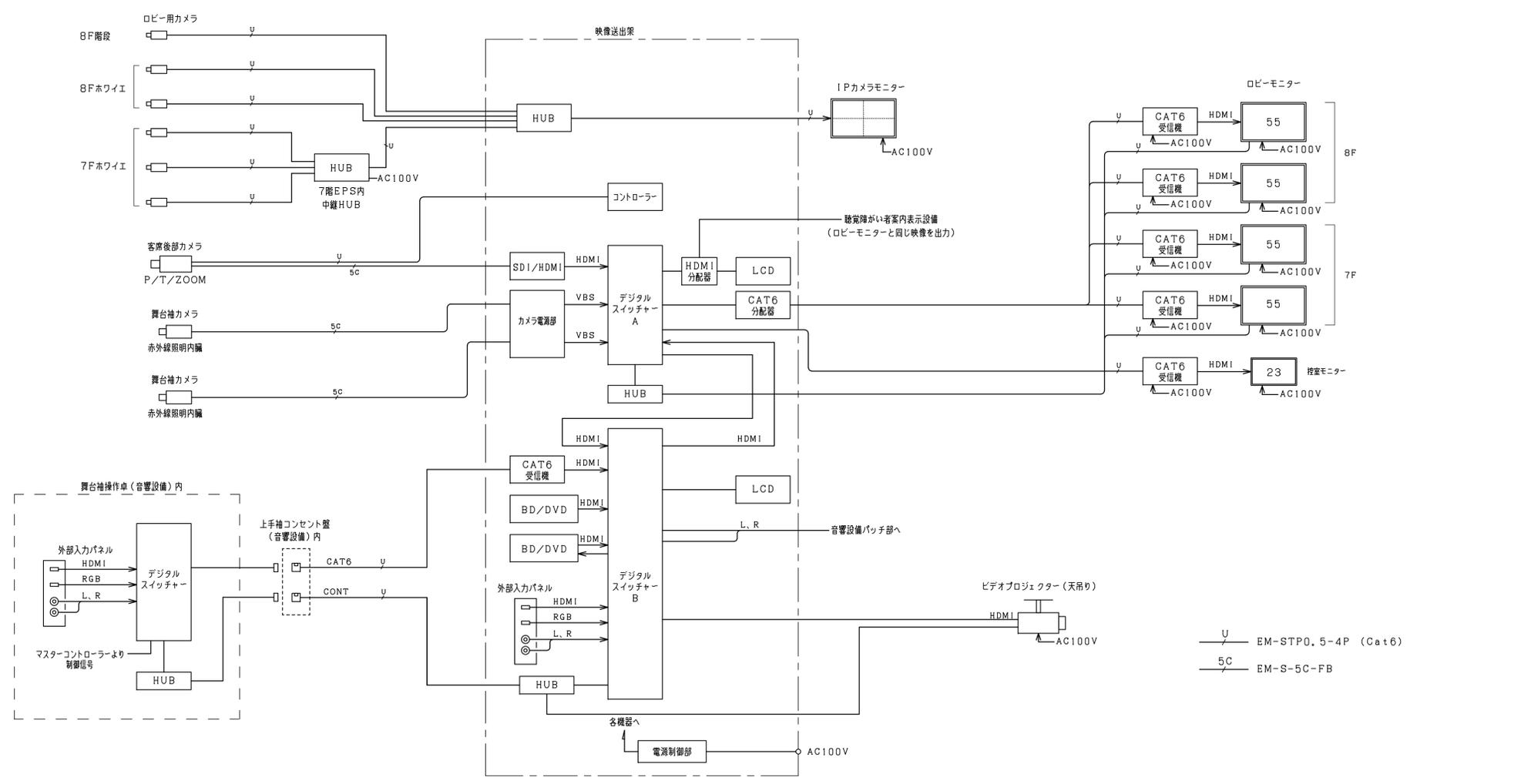
防火区画貫通処理、遮音区画貫通処理については防火区画貫通処理図(1)~(3)、遮音区画貫通処理図(1)(2)を参照とする。

凡例	
記号	名称
⊠	映像送出架
⊠B	上手袖コンセント盤
⊠A	客席後部カメラ
⊠B	舞台袖カメラ
⊠c	ロビー用カメラ
⊠P	ビデオプロジェクター
⊠A	ロビーモニター
⊠B	控室モニター
⊠c	IPカメラモニター
⊠HUB	中継HUB
⊠W	舞台袖操作卓

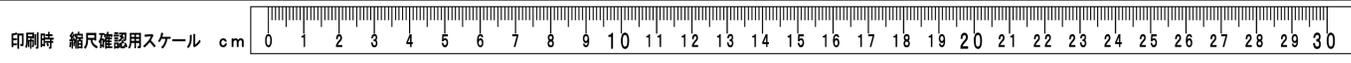
配線凡例		配線使用時
U	EM-STP0, 5-4P (Cat6)	(PF16) (E19)
U	EM-STP0, 5-4P (Cat6) x2	(PF22) (E25)
5C	EM-S-5C-FB	(PF16) (E19)

⊠は防火区画処理を示す。
 (防火区画貫通部は、国土交通大臣設定工法にて区画貫通処理を施すこと)
 ・露出配管部はE管とし、指定色塗装とする。

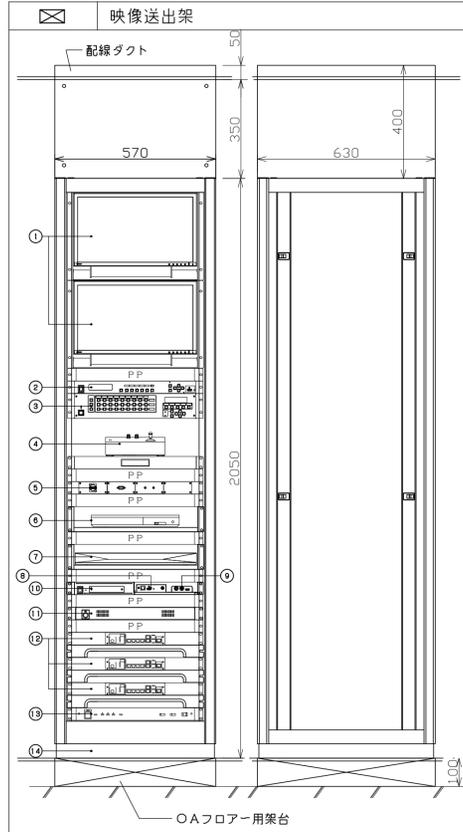
映像設備 システム系統図



工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	舞台映像設備 システム系統図	図面サイズ: A1
縮尺	-	図面番号 No. 137 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設



図中表記のメーカー、型番、形状、寸法、重量等は参考とし、性能上・機能上に於いて同等品以上を採用とする。

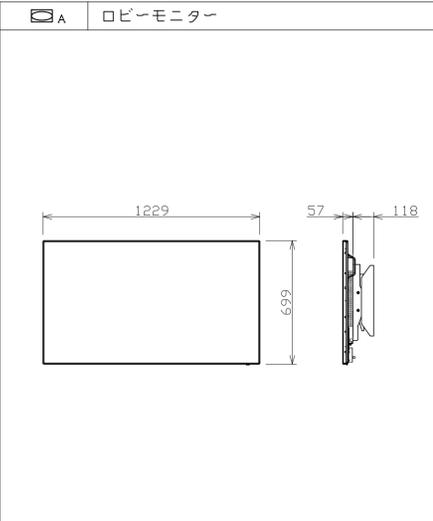


番号	名称	数量	備考
①	18.5型液晶モニター	2	
②	デジタルスイッチャーA	1	
③	デジタルスイッチャーB	1	
④	カメラコントローラー	1	
⑤	外部入力パネル	1	
⑥	BD/DVDプレーヤー	1	
⑦	BD/DVDレコーダー	1	
⑧	CAT6受信機	1	
⑨	SDI/HDMI	1	
⑩	CAT6分配器	1	
⑪	カメラ電源部	1	
⑫	HUB	3	
⑬	電源制御ユニット	1	
⑭	収納架	1	

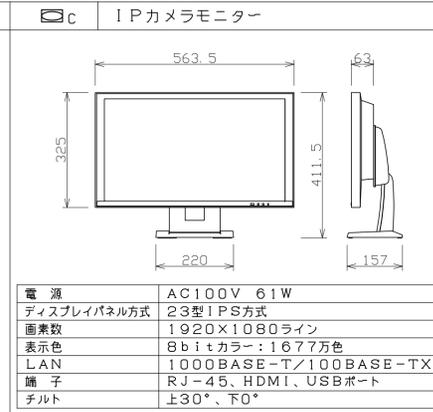
BP: プランクパネル, PP: 換気用パネル

18.5型液晶モニター	
サイズ・パネル種類	47cm(18.5)型・TN(アンチグレア)
入力端子	HDMI X1, DisplayPort X1, DVI-D X1, D-Sub X1
解像度	1366×768(約16:9)
その他	取付金具共
デジタルスイッチャーA	
映像入力	HDMI X3(フロント1系統)、RGB X2
映像出力	HDMI X1, Cat6 X1
出力解像度	VGA~QWVG, 480i~1080p
音声入力	デジタルX3、アナログX5
外部制御方式	RS-232C X1, LAN, フロント
デジタルスイッチャーB	
映像入力	HDMI X4(1線4K@30), HDBaseTX2(4K@30), DVI-1X2
映像出力	HDMI X3, HDBaseTX3(HDMI又はHDBaseT切替)
出力解像度	XGA~4K@30Hz
音声入力	デジタルX8、アナログX2
外部制御方式	RS-232C X1, LAN X1, フロント
カメラコントローラー	
カメラ接続台数	シリアル接続時X5台、IP接続時X100台
制御プロトコル	シリアル: RS422, IP: IPv4
プリセット数	最大100
カメラ調整機能	パン・チルト、ズーム、フォーカス、アイリス ゲイン、ペダスタル、シャッター、ディテール ホワイト/ブラックバランス、シーンファイル切替
外部入力パネル	
接続端子	HDMI X1, RGB X1, L/R X1

BD/DVDプレーヤー	
再生可能ディスク	BD-RE, BD-R, BD-Video, DVD-R/-RW, DVD+R/+RW, DVD-Video, CD-DA, CD-R/RW
BD/DVDレコーダー	
ハードディスク容量	500GB
デジタルチューナー数	1個
録画可能ディスク	内蔵HDD
BD-RE, BD-R, DVD-RAM, DVD-R, DVD-RW, 他	
入出力端子	
HDMI	AV出力: 1系統
その他端子	アンテナ端子, USB端子(USB2.0), LAN端子
CAT6受信機	
出力信号	TMD5 シングルリンク HDCP対応(パススルー)、RS-232C信号、LAN信号
対応解像度	VGA~4K@30Hz、480i~1080p
補償範囲	Cat6ケーブル: 最大100m
SDI/HDMI	
入力	1系統 SD/HD/3G-SDI(BNC)
出力	1系統 HDMI(Type-A)
音声フォーマット	1系統 2分配出力 SD/HD/3G-SDI
CAT6分配器	インテグレートオーディオ(2ch, 24bit, 48kHz)
CAT6分配器	
入出力信号	HDMI: 1入力/Cat6: 4出力, HDMI: 1出力(HDCP対応)
対応解像度	VGA~QWVG, 480i~1080p
補償範囲	Cat6ケーブル: 60m
カメラ電源部	
カメラ入力	1.0V(p-p)/75Ω X4(BNC)
映像出力	1.0V(p-p)/75Ω X4(BNC)
音声出力	-10dBV/600Ω X4 不平衡
HUB	
ポート数	10/100/1000BASE-T X6
SFP	X2(ポート5、6と排他利用)
給電機能	1ポートあたり: 30.0W(ポート1-4)
装置全体	: 120W
動作環境温度	0℃~50℃
機能	マルチキャスト、VLAN、ループ障害防止機能
電源制御ユニット	
電源	AC100V 架内機器総容量: 900W
AC最大電源容量	40A
電源コンセント	前面: 電源非連動X1(3A以下) 後面: 電源非連動X2、電源連動X9



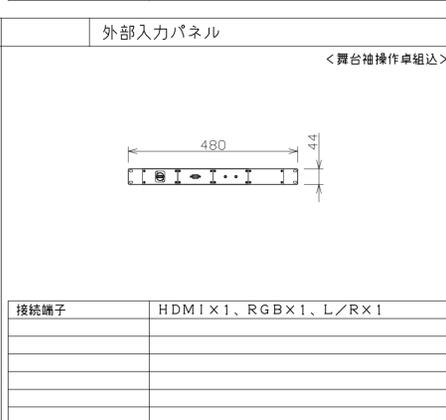
モニター	
電源・消費電力	AC100V 190W
画面サイズ・画素数	55V型 16:9 1920×1080画素
液晶パネル・バックライト	IPSパネル E-LED
輝度・コントラスト	700cd/m ² 1300:1
入出力端子	HDMI入力, RGB/コンポジット入力, ビデオ入力, USB, DVI-D入力/出力, PC入力, 音声入力/出力, 外部制御端子
DIGITAL LINK	
機能	RJ45 X1系統(LANと共用)
設置方向・設置角度	横/縦共用 縦: 前傾/後傾0~45度まで 縦: 前傾/後傾0~45度まで
備考	USBメディアプレーヤー、24時間連続録画、ファイルオーバー&ファイルバック
その他	
CAT6受信機	壁面金具共
出力信号	TMD5 シングルリンク HDCP対応(パススルー)、RS-232C信号、LAN信号
対応解像度	VGA~4K@30Hz、480i~1080p
補償範囲	Cat6ケーブル: 最大100m



IPカメラモニター	
電源	AC100V 61W
ディスプレイパネル方式	23型IPS方式
画素数	1920×1080ライン
表示色	8bitカラー: 1677万色
LAN	1000BASE-T/100BASE-TX
端子	RJ-45, HDMI, USBポート
チルト	上30°、下0°
ビデオプロジェクター(天井吊り)	
表示方式	0.67型 DLPチップ1枚 DLP方式
画素数	2304000画素 X1枚
光源	レーザーダイオード
光出力	12000lm/12600lm(センター)
解像度	WUXGA 1920ドット X 1200ドット
投写画面サイズ	50型~600型(アスペクト比16:10時)
レンズ	電動ズーム、電動フォーカス、電動レンズシフト機能
接続端子	SDI入力, HDMI入力, DVI-D入力, RGB入力(D-Sub15P X2, BNC X5), シリカガラス/ガラス, リモート入力/出力, LAN/デジタルリンク端子, LAN端子
使用電源	AC100V 1100W
備考	4K信号入力対応, コントラスト連動シャッター連動機能, フィルターレス構造



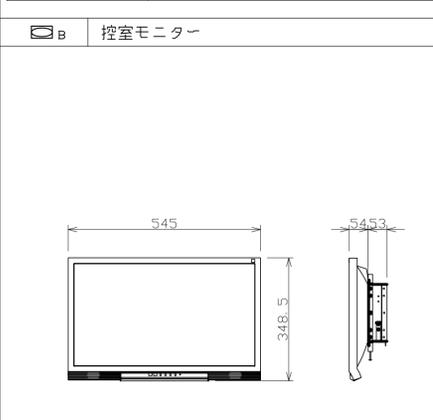
デジタルスイッチャー	
電源	AC100V
映像入力	HDMI X3(フロント1系統)、RGB X2
映像出力	HDMI X1, Cat6 X1
出力解像度	VGA~QWVG, 480i~1080p
音声入力	デジタルX3、アナログX5
特長	音声ミキシング、音声A/D、D/A変換、映像音声非連動切替、プリセットメモリ(6メモリ+スタートアップメモリ)、アンチストームコネクションリセット機能、外部コントロールコマンド(32コマンド)キーロック、疑似シームレス、ケーブル補償、アスペクト保持機能、PJリンク対応、EDIDミューレイト内蔵、液晶表示管による入出力ステータス確認
外部制御方式	RS-232C X1, LAN, フロント
HUB	
電源	AC100V
ポート数	10/100/1000BASE-T X6
SFP	X2(ポート5、6と排他利用)
給電機能	1ポートあたり: 30.0W(ポート1-4)
装置全体	: 120W
動作環境温度	0℃~50℃
機能	マルチキャスト、VLAN、ループ障害防止機能



外部入力パネル	
接続端子	HDMI X1, RGB X1, L/R X1
ロビー用カメラ	
電源	DC12V, PoE(IEEE802.3af準拠)
撮像素子/有効画素数	1/3型MOSセンサー/約235万画素・プログレッシブ
解像度	カラー: 0.071x, 白黒: 0.011x(F1.6)
最低照度	10BASE-T/100BASE-TX, RJ45コネクタ
ネットワーク	0.1fps~30fps
画像更新速度	2M(16:9)(H)1920/1280/640/320/160
画像解像度	2M(4:3)(H)1600/1280/800/VGA/400/QVGA/160
画角	3M(4:3)(H)2048/1280/800/VGA/400/QVGA/160
画像圧縮方式	H.264(独立4ストリーム配信設定)、JPEG
レンズ部	f=2.8~9.5mm(3.3倍バリアフォーカル)
機能	スーパータイムラプスレンジ、暗部補正、逆光補正、カラー/白黒切替、AF、SDXC/SDHC/SD対応



客席後部カメラ	
電源	DC12V, PoE(IEEE802.3af準拠)
撮像素子	1/2.3型 MOS
レンズ	光学30倍ズーム F1.6~F4.7
フォーカス	オート/マニュアル切替
最低照度	0.7lx(50IRE, F1.6, 48dB, 香煙なし/160)
水平解像度	1000TV本タイプ(中心部)
映像出力	HD/SDI OUT: SMPTE292M 準拠/75Ω(BNC X1)
入出力端子、他	LAN, RS-232C, RS-422, USB, microSDカード/F20ドット
出力フォーマット(HD)	1080:59.94i/50i, 1080:29.97p/25p, 1080:29.97PsF/25PsF, 720:59.94p/50p
画補正機能	電子式
回転台	据付方法: 据え置きまたは吊り下げ
機能	PAN動作範囲: ±175°, TILT動作範囲: -30°~90°
カメラ/回転台コントロール	IP接続ケーブル, AWプロトコル接続ケーブル, 標準プロトコル接続ケーブル
舞台袖カメラ	
電源	カメラ駆動ユニットよりDC電源供給
撮像素子/有効画素数	1/3型インテグレート駆動方式CCD/978(H) X494(V)
解像度	水平650TV本、垂直350TV本以上(中心部)
最低照度	カラーモード: 0.08lx(F1.6)
白黒モード	0.008lx(F1.6)
赤外線LED照明	OFF/AUTO/FIX. 照射距離: 約20m
レンズ部	f=9~22mm(2.4倍バリアフォーカルレンズ)
防水性/防塵性	IP66/Type4X/NEMA4X準拠
機能	逆光補正、暗部補正、カラー白黒切替、画補正、モーションディテクター、赤外線LED照射、歪補正(256段階)、電子ズーム(X2)、映像表示、ABF、電子駆動アップ
その他	壁面金具共



控室モニター	
電源	AC100V 37W
ディスプレイパネル方式	23型 TN(ノングレア)
画素数	1920×1080
入力端子	DVI-D24ピン X1, D-Sub15ピン(ミニ) X1, HDMI X2(PC接続対応)
表示モード	カラーモード有(Day, Night, sRGB)
その他	スタンド昇降(60mm)、スピーカー(0.5W+0.5W)
モニター	
電源	AC100V 155W
ディスプレイパネル方式	23型 TN(ノングレア)
画素数	1920×1080
入力端子	DVI-D24ピン X1, D-Sub15ピン(ミニ) X1, HDMI X2(PC接続対応)
表示モード	カラーモード有(Day, Night, sRGB)
その他	スタンド昇降(60mm)、スピーカー(0.5W+0.5W)
CAT6受信機	
出力信号	TMD5 シングルリンク HDCP対応(パススルー)、RS-232C信号、LAN信号
対応解像度	VGA~4K@30Hz、480i~1080p
補償範囲	Cat6ケーブル: 最大100m



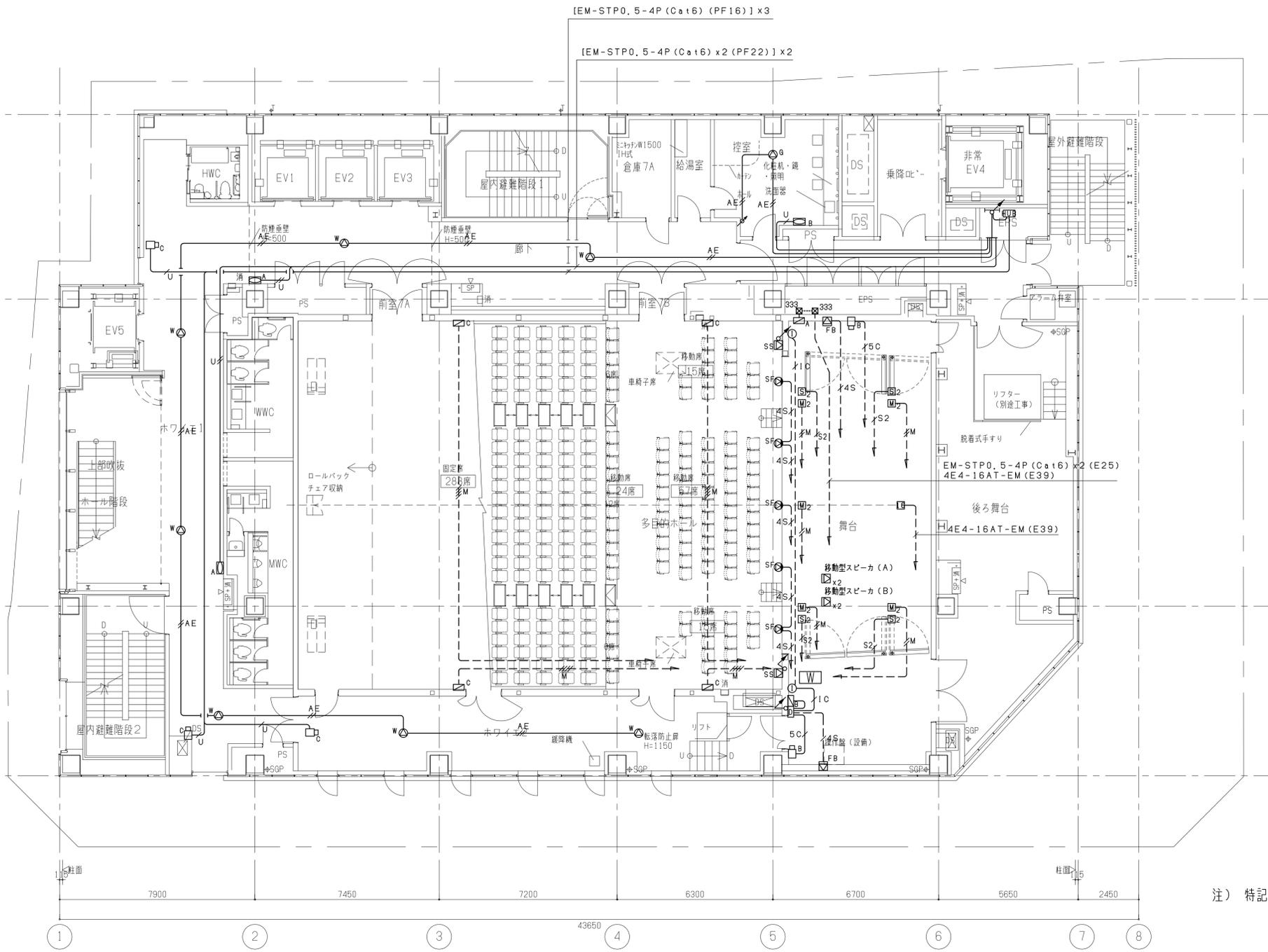
中継HUB	
電源	AC100V 155W
ポート数	10/100/1000BASE-T X6
SFP	X2(ポート5、6と排他利用)
給電機能	1ポートあたり: 30.0W(ポート1-4)
装置全体	: 120W
動作環境温度	0℃~50℃
機能	マルチキャスト、VLAN、ループ障害防止機能

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	舞台映像設備 機器姿図	図面サイズ: A1
縮尺	-	図面番号 No. 138 (166枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課(設備グループ)		株式会社 大建設

凡例	記号	名称
音響設備		
MIX	音響調整卓	
CD	効果機器卓	
⊠	入出力パッチ架/電力増幅架	
P	プロセニアムスピーカー	
SS	サイドスピーカー	
FB	固定はね返りスピーカー	
SF	ステージフロントスピーカー	
C	シーリングスピーカー	
M	コントロールモータースピーカー	
W	ホワイエスピーカー	
G	控室系スピーカー	
B	親子室スピーカー	
⊘	アッテネータ (0.5W~6W)	
⊙	エアモニターマイク	
○	ワイヤレスアンテナ	
⊠A	下手袖コンセント盤	
⊠B	上手袖コンセント盤	
⊠C	客席内コンセント盤	
⊠	舞台袖操作卓	
⊙2	壁付マイクコンセント (2ヶ口)	
⊠2	フロアマイクコンセント	
⊠2	フロアスピーカーコンセント	
⊠B	床マルチコンセント	
⊙	インターカムコンセント	
⊙PM	三点吊マイク	
⊙	三点吊マイク用駆動部	
⊠3PM	電動三点吊りマイク装置制御盤 (操作部共)	
⊠	ワイヤリングダクト (200×100 鋼板製・指定色焼付塗装)	
映像設備		
⊠	映像送出架	
⊠A	客席後部カメラ	
⊠B	舞台袖カメラ	
⊠C	ロビー用カメラ	
⊠P	ビデオプロジェクター	
⊠A	ロビーモニター	
⊠B	控室モニター	
⊠C	IPカメラモニター	
⊠HUB	中継HUB	
⊠	ブルボックス (鋼板製・塗装有り) 特記無きブルボックスは200×200×200 ⊠333 : 300×300×300	

配線凡例 (7階)	配線使用時
M	4E6AT-EMx2 (E25)
M	4E6AT-EMx4 (E31)
4S	4S8-EM (E25)
S	4S8-EMx2 (E31)
S2	4S11-EMx2 (E31)
AE	EM-AE1.2-2C (PF16)
IC	4E5AT-EMx2 (E19)
5C	EM-S-5C-FB (E19)
U	EM-STP0.5-4P (Cat6) (PF16)
U	EM-STP0.5-4P (Cat6) x2 (PF22)

防火区画貫通処理、遮音区画貫通処理については防火区画貫通処理図(1)~(3)、
遮音区画貫通処理図(1)(2)を参照とする。



7階平面図
注) 舞台、舞台袖廻りの露出配管、ケーブルラック、盤類は指定色塗装仕上げとする。

注) 特記なき配線・配管及び立上げ・引下げは系統図参照

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設電気設備工事	令和 元 年度
図面名称	舞台音響映像設備 7階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1/100	図面番号 No. 139 (166 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設

